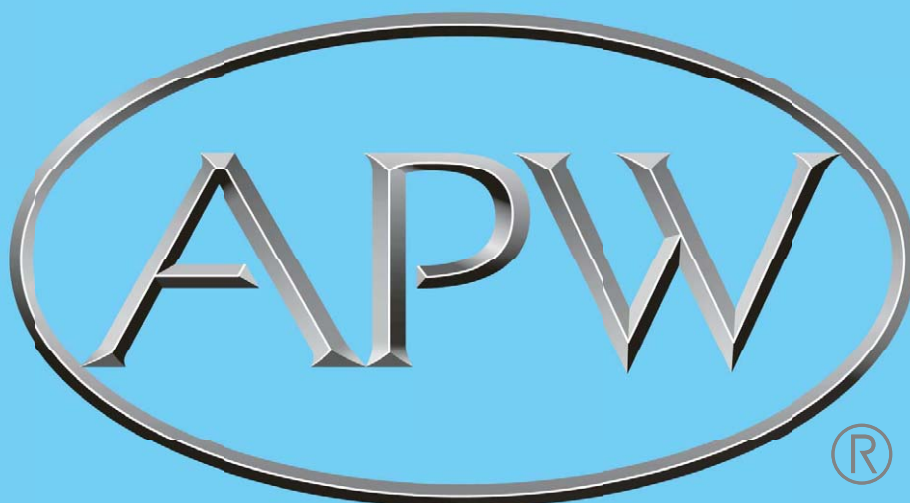
お施主様用保存版

使い方＆お手入れ
ガイドブック

お施主様・使用者様向け取扱い説明書

APW® 310

建材流通店・工務店・建築会社の皆様へ

この取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください

このたびは、YKK APの窓をお買い上げいただきありがとうございます。

窓のお引渡しについて・・・

●ご使用になる前に、この取扱説明書を参考に、下記の説明を受けてください。

・窓の正しい使い方

・お手入れ、メンテナンス方法について

・保証内容と保証期間

窓の操作について・・・

●窓の取付け位置、窓種、窓の組合せによって操作性や注意点が異なりますので、ご自身で操作を行ってご確認ください。

ガイドブックについて・・・

●この「使い方&お手入れガイドブック」には、窓の正しい取扱い方やお手入れ方法などについて説明してあります。

●第1章の「安全にお使いいただくために」は、安全に関して基本的に守っていただきたい内容が記載されています。重要ですので必ずお読みください。

●窓の仕様、その他の変更により、このガイドブックの記載内容とお使いになる窓が一致しない場合がありますのでご了承ください。

目　次

第1章　安全にお使いいただくために

● 安全にお使いいただくために・・・

1. 窓、ドア、網戸の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ち、ゆっくりと行ってください。

2. 窓や網戸の取りはずしや調整などを行う前に、必ずこの取扱説明書を読んで正しい方法で行ってください。

3. 窓や網戸の取りはずし、調整などを行う際は、周囲に人がいないことを確認し安全に十分注意して行ってください。

4. 窓をしっかり閉め、確実に主錠をかけてください。
   施錠後は、錠がかかっていることを確認してください。

5. 窓、ドア、網戸に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。

6. 長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみが発生することがあります。商品のねじ部品がはずれたり、ゆるんでないか時々点検してください。

● 安全に関するポイント～けがの防止

　窓などは日常、何気なく使用していると思いますが、ちょっとの不注意がけがにつながることがあります。日常生活の中でご注意していただきたいポイントを以下にご紹介しますので、家庭内でのけが防止の参考にしてください。

●はさむ

・窓、ドア、網戸の開閉時にあたっては必ず引手やハンドルを持って操作してください。
・開けた窓、ドア、網戸のすき間に絶対に手や指を置かないでください。

手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

●ぶつかる

・窓、ドア、網戸のお手入れをするときには、端部や部品のかどにご注意ください。

窓、ドア、網戸の端部や部品のかどに手をぶつけてけがをするおそれがあります。

・窓にそばを通る時は、開いている窓にご注意ください。

開いている窓にぶつかり、けがや窓の破損につながるおそれがあります。

●落ちる

・お手入れなどで、窓や網戸を取りはずし、再び取付けるときは、表示ラベルにしたがってはずれ止め部品を必ずかけてご使用ください。
・ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部分が正しくかかっていないと窓や網戸がはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・窓、ドアに寄りかかるなど、荷重をかけないでください。
窓、ドアの破損もしくは脱落による転落もしくは転倒のおそれがあります。

・網戸に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。
網戸の破損や急に網戸がはずれて転落するおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。
（網戸は防虫を目的としていますので、人の転落防止効果はありません。）

・お手入れなどで、窓から身を乗り出さないでください。
バランスをくずし、転落するおそれがあります。

● 安全に関する表示について・・・

人身事故や財産上の損害を未然に防止するために守っていただきたい内容を示しています。
内容をご理解のうえ、商品をご使用ください。

表　示	意　味
⚠注意	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
❗	「必ず守っていただくこと」を示します。
🚫	「してはいけないこと」を示します。
お願い	指示に従わないと、使用者が損傷を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。

その他の表示

一読	「ご使用前に読んでいただきたいこと」を示します。

※デザイン、仕様などは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。

APW® 310

片上げ下げ窓	FIX窓	たてすべり出し窓
外観	外観	外観
●商品の特長 ―― P. 5 ●商品の使い方 ―― P. 6 ●お手入れ方法 ―― P.39	●商品の特長 ―― P. 9 ●お手入れ方法 ―― P.44	●商品の特長 ―― P.11 ●商品の使い方 ―― P.12 ●お手入れ方法 ―― P.45
すべり出し窓	片引き窓・両袖片引き窓	
外観	外観 外観	
●商品の特長 ―― P.14 ●商品の使い方 ―― P.15 ●お手入れ方法 ―― P.46	●商品の特長 ―― P.21 ●商品の使い方 ―― P.22 ●お手入れ方法 ―― P.52	
高所用換気窓	引違い窓	シャッター付引違い窓
外観	外観	外観
●商品の特長 ―― P.25 ●商品の使い方 ―― P.25 ●お手入れ方法 ―― P.27	●商品の特長 ―― P.27 ●商品の使い方 ―― P.28 ●お手入れ方法 ―― P.55	●商品の特長 ―― P.29 ●商品の使い方 ―― P.30 ●お手入れ方法 ―― P.59

APW® 311

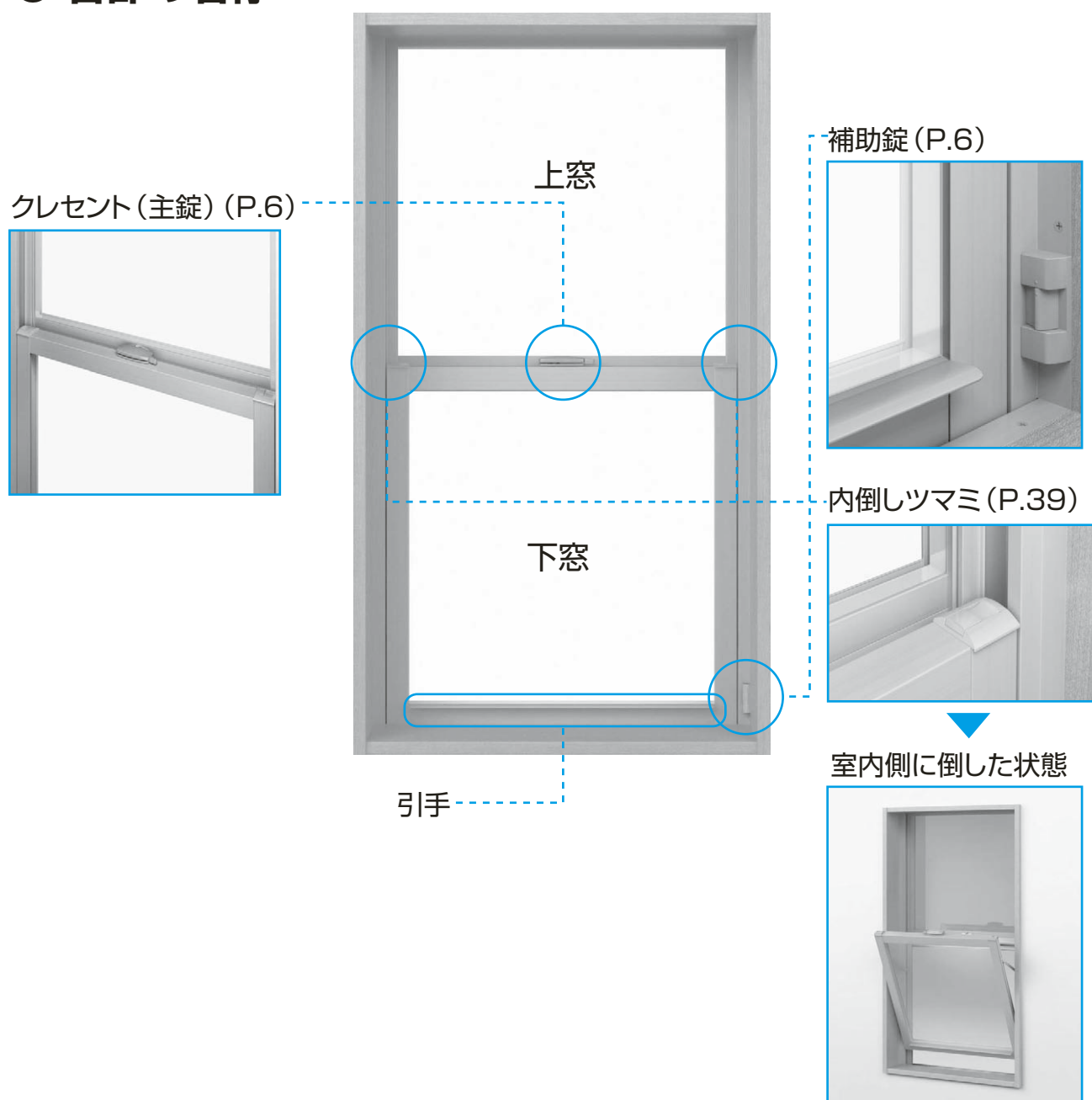
引違いテラス戸	シャッター付引違いテラス戸
外観	外観
●商品の特長 ——— P.33 ●商品の使い方 ——— P.34 ●お手入れ方法 ——— P.55	●商品の特長 ——— P.36 ●お手入れ方法 ——— P.59

商品の特長【片上げ下げ窓】

● 商品の特長

・下窓を上下にスライドして開閉する窓です。
・クレセント（主錠）1ヶ所と補助錠1ヶ所の計2ヶ所の錠を装着しています。
・室内から窓の外側を清掃することができます。（P.39）
・網戸は、片上げ下げ窓用固定網戸の設定があります。（オプション）（P.41）

● 各部の名称

上窓
下窓
クレセント（主錠）（P.6）
補助錠（P.6）
内倒しツマミ（P.39）
室内側に倒した状態
引手

・外出、就寝時は必ず窓を閉め、主錠だけでなく補助錠を必ずかけてください。

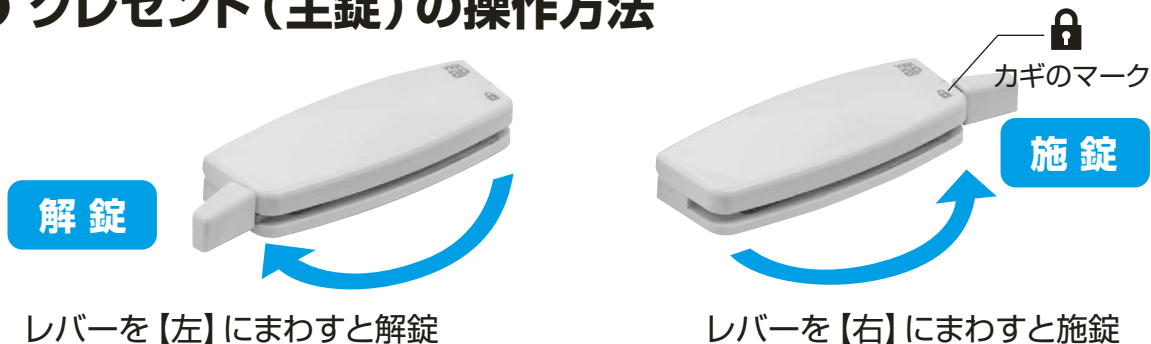
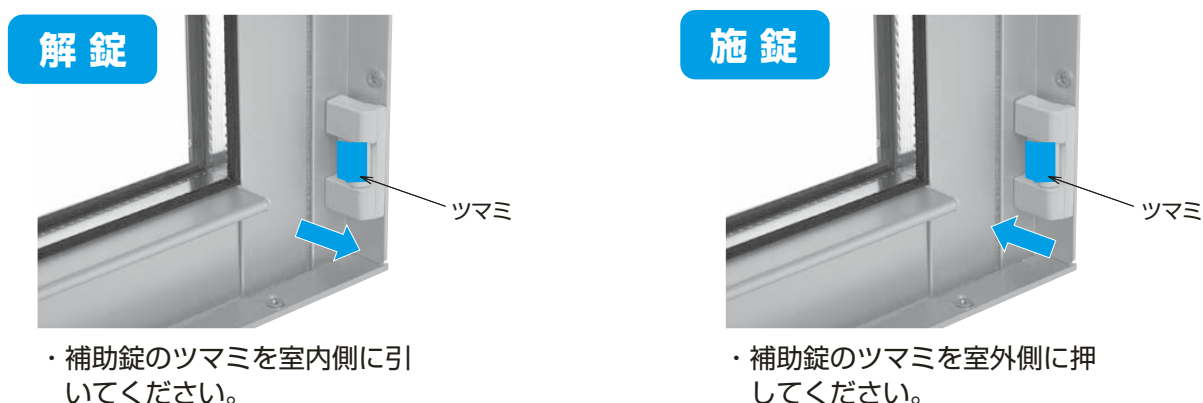
● クレセント（主錠）の操作方法

レバーを【左】にまわすと解錠

レバーを【右】にまわすと施錠

● 補助錠の操作方法

・補助錠のツマミを室内側に引いてください。

・補助錠のツマミを室外側に押してください。

● 窓の開け方

① 補助錠のつまみを室内側に引いて解錠する
② 主錠のレバーを【左】にまわす（解錠）
③ 引手を持ち、静かに開けたい位置まで下窓を引き下げる

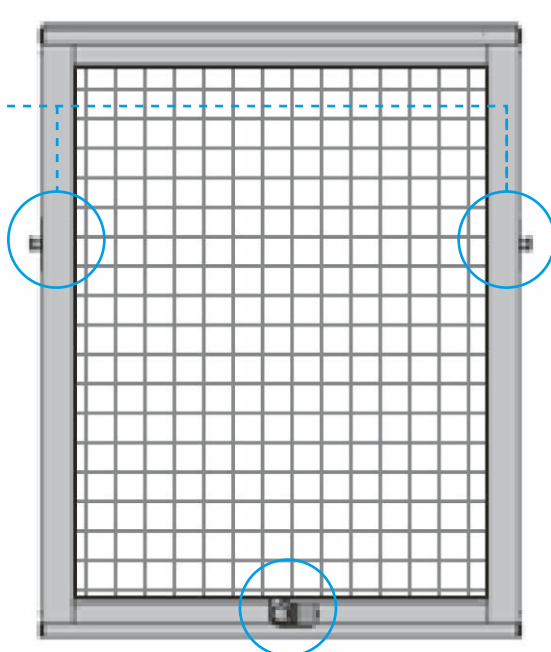
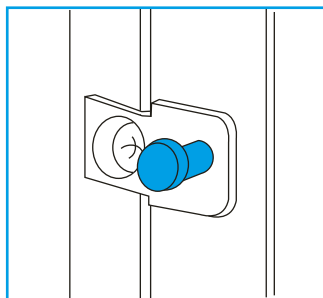
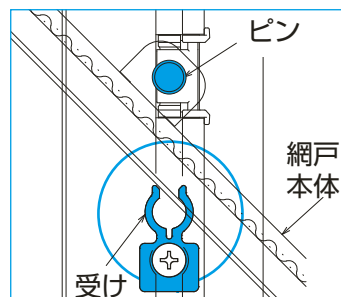
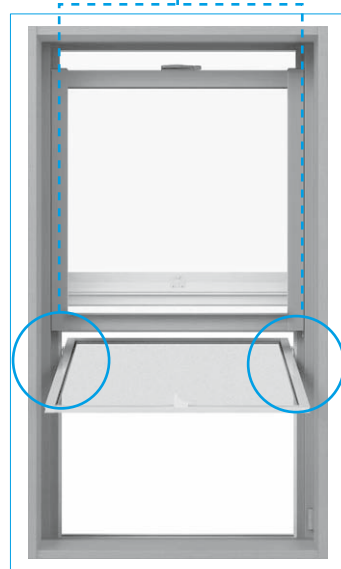
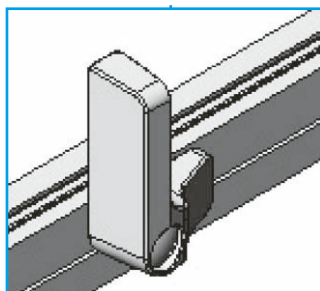
● 窓の閉め方

① 主錠のレバーが【左】にあることを確認する（解錠状態）
② 引手を持ち、静かに最後までしっかりと下窓を閉める
③ 主錠のレバーを【右】にまわす（施錠）
④ 窓が開かないことを確認する
⑤ 補助錠のつまみを室外側に押して施錠する

● 商品の特長

・室内側に開けることができる網戸です。

・室内側から網戸の脱着が行えます。

● 各部の名称

網戸を開けた状態

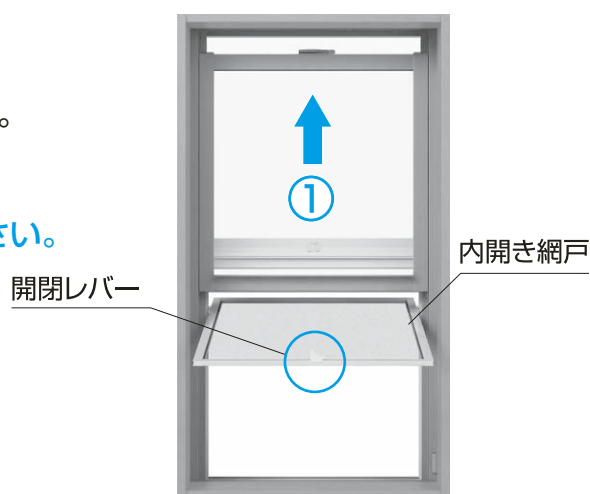
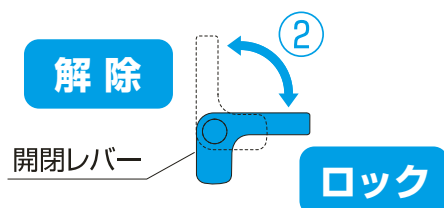
・網戸を開けた状態では固定できません。
・開閉レバーが【ヨコ】ロック状態のまま網戸を閉めると開閉レバーが枠に当たります。
開閉レバーを【タテ】解錠状態にして網戸を閉めてください。
・網戸を使わない時は、開閉レバーを【ヨコ】にしてロック状態にしてください。

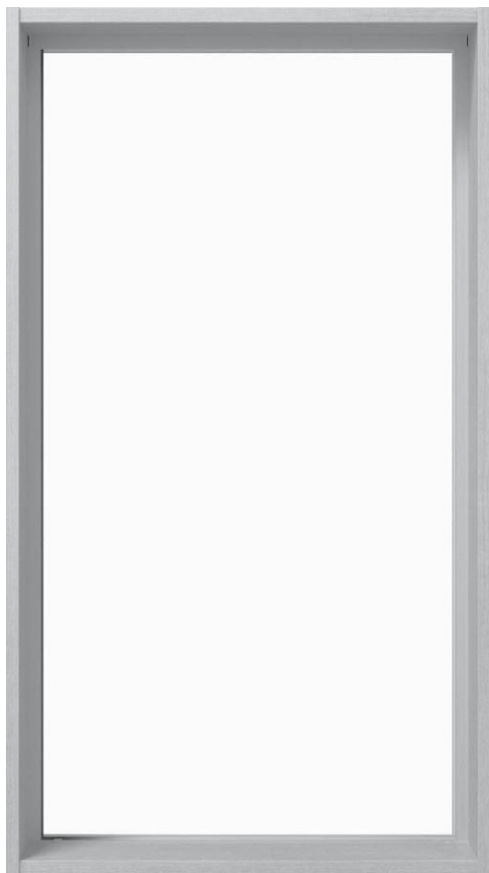
● 網戸の使い方

① 窓を全開にする。

② 開閉レバーを【タテ】にしてロックを解除する。

③ 開閉レバーを手前に引いて網戸を開ける。

※網戸開閉の際は、窓を全開にして行ってください。

● 商品の特長

・固定されて開閉できない窓です。
・通風や換気はできませんが、採光性や眺望性に優れた窓です。
・室外側ガラス面は、室内側から掃除できません。(P.44)

● 商品の特長

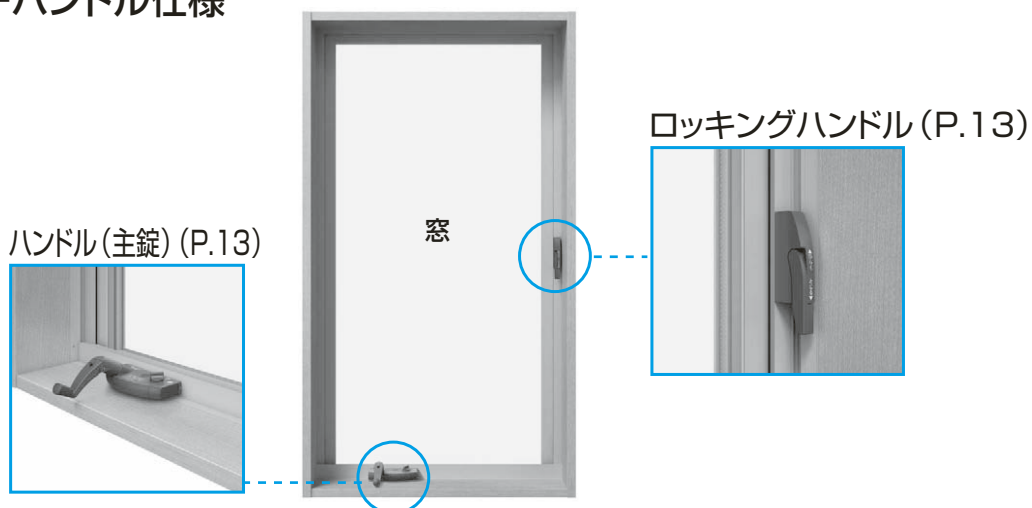
・窓を室外側に開き、開閉する窓です。(P.12)
・ハンドル(主錠)で施錠、解錠できます。(P.12)
・ハーフロックで窓の開く角度を切り替えることができます。(P.12)
・全開にすると窓が90°まで開き、窓の外側の清掃ができます。(P.45)
・網戸は、横引きロール網戸(P.17)と上げ下げロール網戸(P.19)の設定があります。(オプション)

● 各部の名称

・カムラッチハンドル仕様

・オペレーターハンドル仕様

商品の使い方【たてすべり出し窓】

⚠注意

❗風の強い時は窓を閉め、必ずハンドルを【タテ】にして施錠してください。施錠しないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

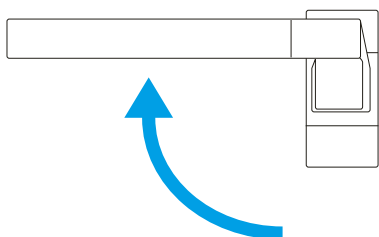
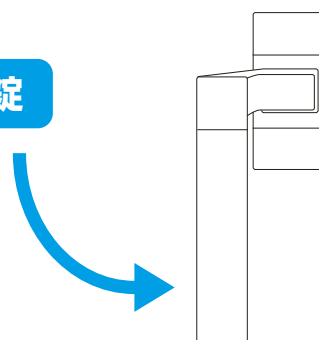
・開閉時、たてすべり出しアームに手や指をはさまないよう、ご注意ください。

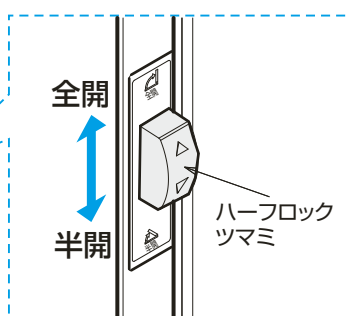
・窓の開閉は、ハンドルを【ヨコ】解錠状態にして、静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、窓や部品を破損するおそれがあります。

・ハーフロックの操作は窓を閉めた状態で行ってください。

・外出、就寝時は必ず窓を閉め、主錠を必ずかけてください。

・カムラッチハンドルの場合

● ハンドル（主錠）の操作方法

ハンドルを【ヨコ】にすると解錠

ハンドルを【タテ】にすると施錠

● ハーフロックの操作方法

半開に設定すると

ハーフロックツマミを半開の位置に動かすとストップ機構が働き、窓が一定以上開きません。

半開から全開にするには

一度窓本体を完全に閉めてハーフロックツマミを全開の位置に動かします。

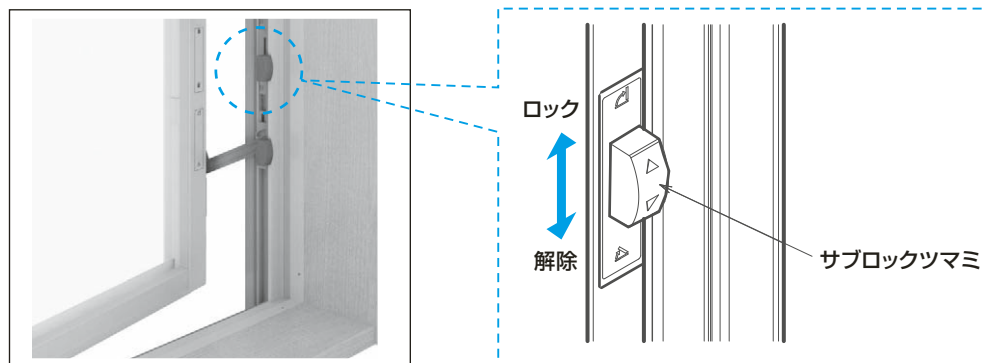
● 窓の開け方

① ハーフロックをスライドさせ全開もしくは半開にする
② ハンドルを90°まわして解錠する（ハンドルは【ヨコ】）
③ ハンドルを【ヨコ】解錠状態にしたまま、窓を室外側へ押出して開く

● 窓の閉め方

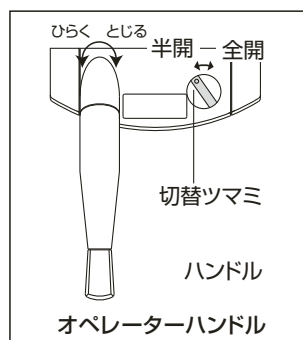
① ハンドルを【ヨコ】解錠状態にしたまま、窓を室内側へ引く
② 窓を完全に閉めてから、ハンドルを90°まわして施錠する（ハンドルは【タテ】）
③ 窓が開かないことを確認する

※ ハーフロックを半開状態にしておくと、より安全です。

● サブロック（オプション）の操作方法

ツマミを【上】にスライドさせるとロック
ツマミを【下】にスライドさせると解除

オペレーターハンドルの場合

・窓を閉めたときは、ロッキングハンドルを必ず施錠してください。施錠しないと雨水やすきま風が入ることがあります。
・窓を閉めるときは、オペレーターハンドルをゆっくりとまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

開け方

①ロッキングハンドルを上げ解錠する
②オペレーターハンドルの切替ツマミにて、全開半開の選択をする
③オペレーターハンドルを「ひらく」の方向に回す

閉め方

①オペレーターハンドルを「とじる」の方向に回す
②窓を閉めた後、ロッキングハンドルを下げ施錠する

● オペレーターハンドルの全開・半開設定方法

全開に設定

①窓を完全に閉める
②オペレーターハンドルの切替ツマミを「半開」の位置から「全開」の位置に切替える
※全開に設定すると90°まで開きます。

半開に設定

①窓を完全に閉める
②オペレーターハンドルの切替ツマミを「全開」の位置から「半開」の位置に切替える
※半開に設定すると、ストップ機構が働き、一定以上開きません。

● 商品の特長

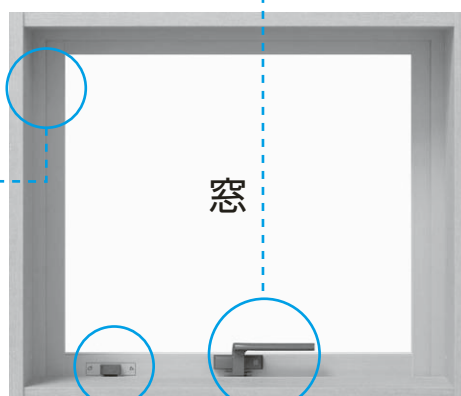
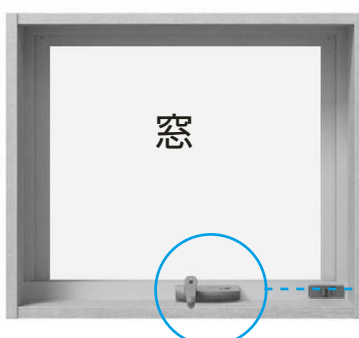
・ 窓を室外側に開き、開閉する窓です。(P.15)
・ ハンドル(主錠)で施錠、解錠ができます。(P.15)
・ 窓の外側の清掃を行えるよう、窓を約62°または約90°まで開けることができます。(P.46)(設定のないサイズがあります。)
・ 網戸は、横引きロール網戸、上げ下げロール網戸、内開き網戸の設定があります。(オプション)

●各部の名称

・カムラッチハンドル仕様

※窓が約約62°または約90°まで開きます
(設定の無いサイズがあります)

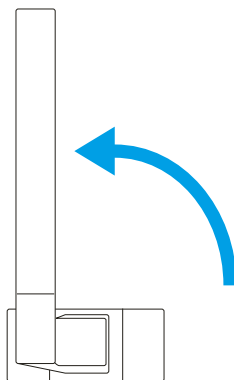
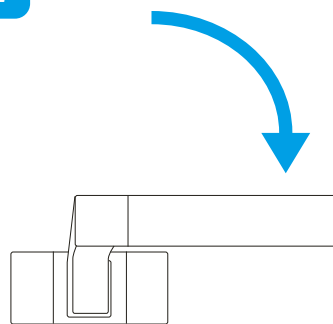
・オペレータハンドル仕様

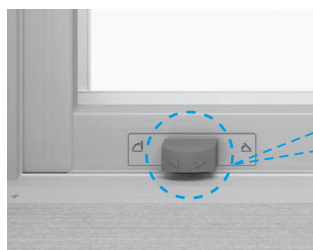
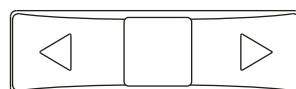
⚠注意

❗風の強い時は窓を閉め、必ずハンドルを【ヨコ】にして施錠してください。施錠しないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

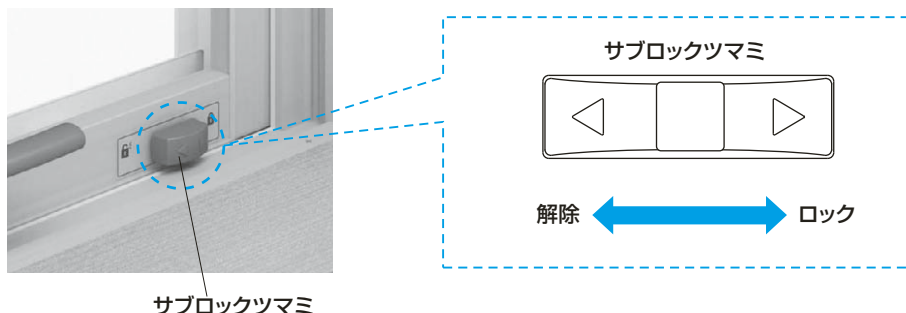
・ハンドルを【タテ】解錠状態にして、開けてください。また無理な操作や誤った操作をすると、窓や部品を破損するおそれがあります。

・外出、就寝時は必ず窓を閉め、主錠だけでなくサブロックを必ずかけてください。

・カムラッチハンドルの場合

● ハンドル（主錠）の操作方法

ハンドルを【タテ】にすると解錠　　ハンドルを【ヨコ】にすると施錠

● ハーフロックの操作方法

ツマミを【右】にスライドさせると半開
※ストップ機構が働き、窓が一定以上開きません。
ツマミを【左】にスライドさせると全開

● サブロック（オプション）の操作方法

ツマミを【右】にスライドさせるとロック

ツマミを【左】にスライドさせると解除

● 窓の開け方

① ハンドルを90°まわして解錠する（ハンドルは【タテ】）

② ハンドルを【タテ】解錠状態にしたまま、窓を室外側へ押出して開く
（※窓のサイズによって開く角度が違います。）

● 窓の閉め方

① ハンドルを【タテ】解錠状態にしたまま、窓を室内側へ引く

② 窓を完全に閉めてから、ハンドルを90°まわして施錠する（ハンドルは【ヨコ】）

③ 窓が開かないことを確認する

・オペレーターハンドルの場合

・窓を閉めるときは、オペレーターハンドルをゆっくりまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

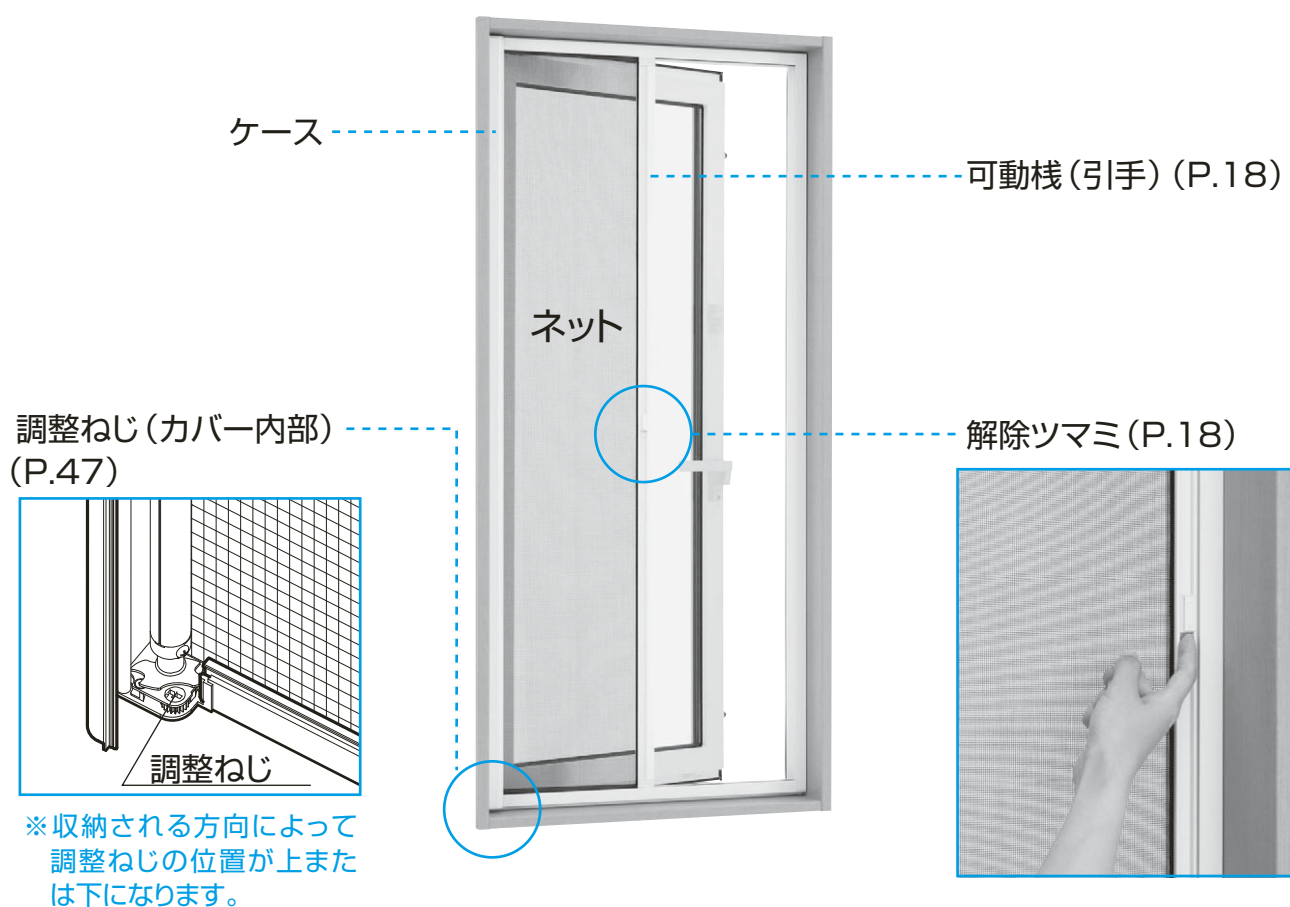
・オペレーターハンドルを回し開閉する

● 商品の特長

・網戸を使用しないときは、ネットをケースに収納できる網戸です。
・可動桟（引手）を引いて網戸を閉めます。（P.18）
・網戸が閉じた状態で解除ツマミを操作すると、ネットが自動で巻き取られケースに収納されます。（P.18）
・ケースを開けるとネットの室外面が清掃できます。（P.48）

● 各部の名称

ケース
可動桟（引手）（P.18）
ネット
調整ねじ（カバー内部）（P.47）
解除ツマミ（P.18）
調整ねじ

※収納される方向によって調整ねじの位置が上または下になります。

・網戸を収納する時は、自動的に巻き取られるようにしてください。ネットが最後まで巻き取られなかった場合は、無理に手で押し込もうとせずに2～3回開閉し、ネットを巻き直すことにより自動的に収納されます。

・手で無理に押し込むとネットが折れてくせがつき、十分に巻き取られない場合があります。

・網戸を収納する際は、自動で巻き取られますので、可動桟とケースに手をはさまないようにご注意ください。

・窓を閉じた状態で網戸を引き出すとハンドルに当たりますので、必ず窓を開けた状態で網戸を引き出してください。

● 網戸の閉め方

① 窓を開ける

※たてすべり出し窓（P.12）

※すべり出し窓（P.15）

② 可動桟の中央付近を持ち、網戸を引き出す

※網戸を全閉状態にすると可動桟（引手）が固定されます。

● 網戸の開け方

① 解除ツマミを矢印方向に押し上げる

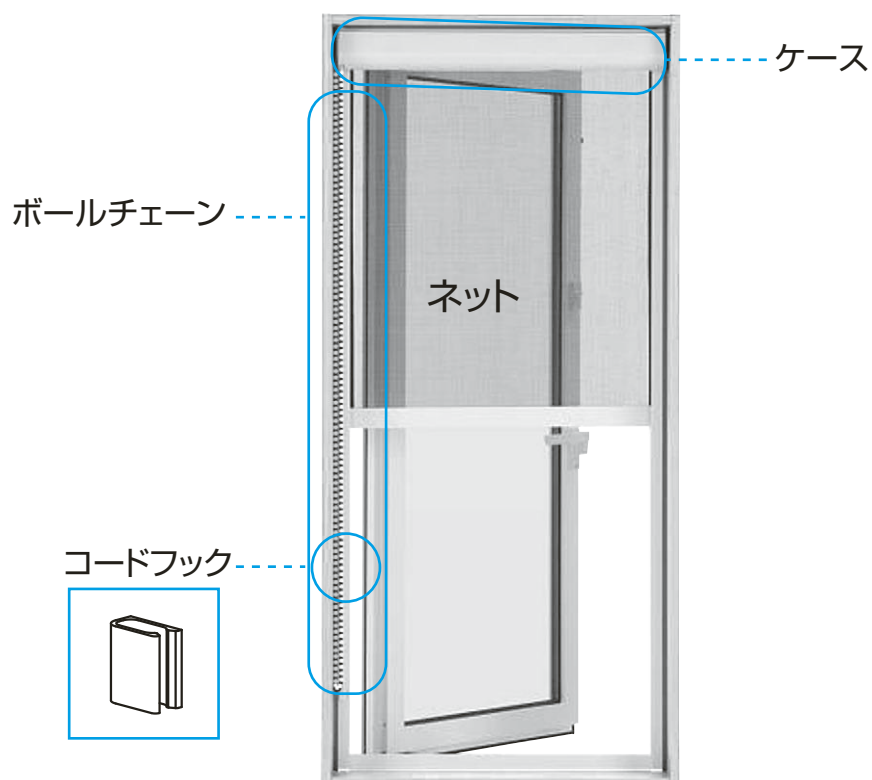
※固定されていた網戸が解除され、自動で巻き取られます。

● 商品の特長

・網戸を使用しないときは、ネットをケースに収納できる網戸です。

・ボールチェーンを引いて網戸を開閉します。（P.20）

・ケースを開けるとネットの室外面が掃除できます。

● 各部の名称

お願い

・網戸を操作しない時はボールチェーンをコードフックにかけてください。
・ボールチェーンを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。事故につながるおそれがあります。

・網戸の開閉操作は、ボールチェーン以外で行わないでください。破損や不具合の原因となります。
・ボールチェーンを強く引くとボールチェーンが切れたり故障につながるおそれがあります。
・窓を閉じた状態で網戸を下げるとハンドルに当たりますので必ず窓を開けた状態で網戸を操作してください。

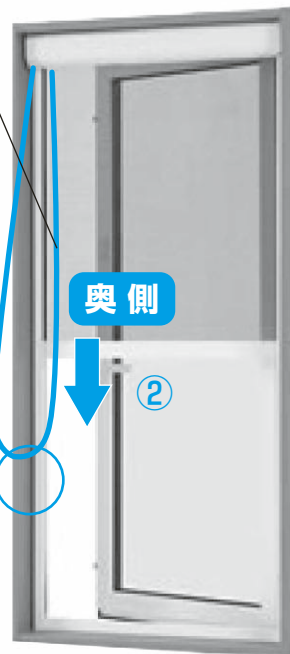
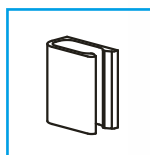
● 網戸の閉め方

① 窓を開ける
※たてすべり出し窓（P.12）
※すべり出し窓（P.15）

② ボールチェーンをコードフックからはずす

③ 奥側のボールチェーンを引いてネットを下げる

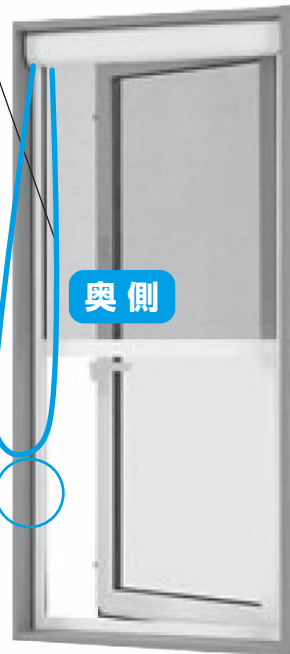
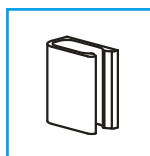
・ネットの下端部を引っ張らないでください。
・ネットがはずれるおそれがあります。

④ ボールチェーンをコードフックにかける

● 網戸の開け方

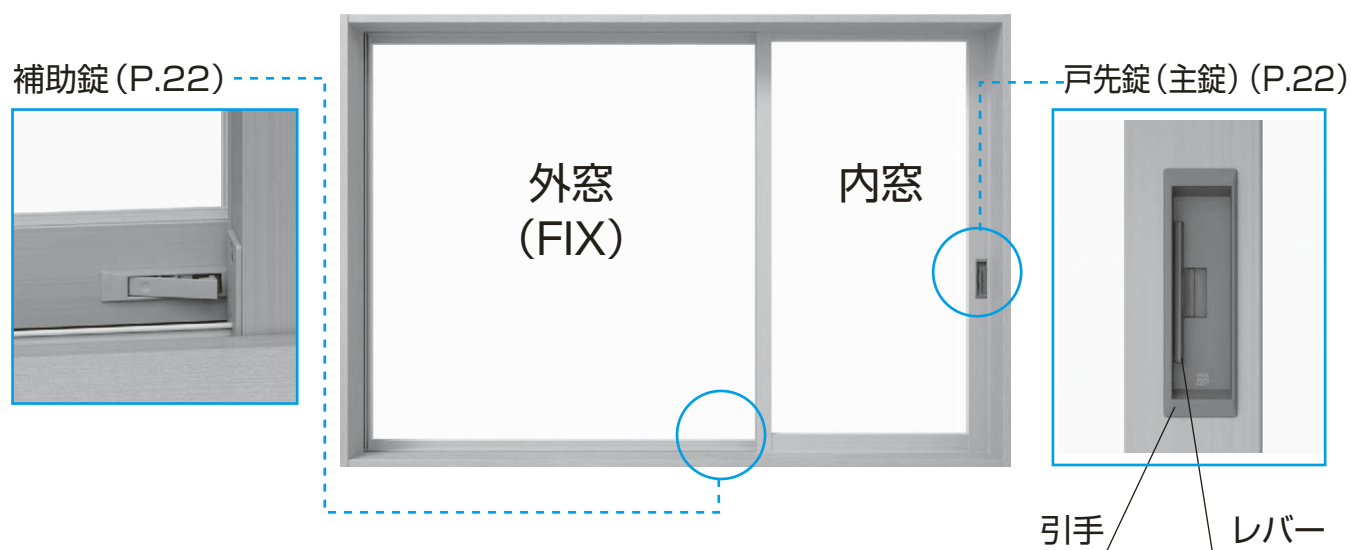
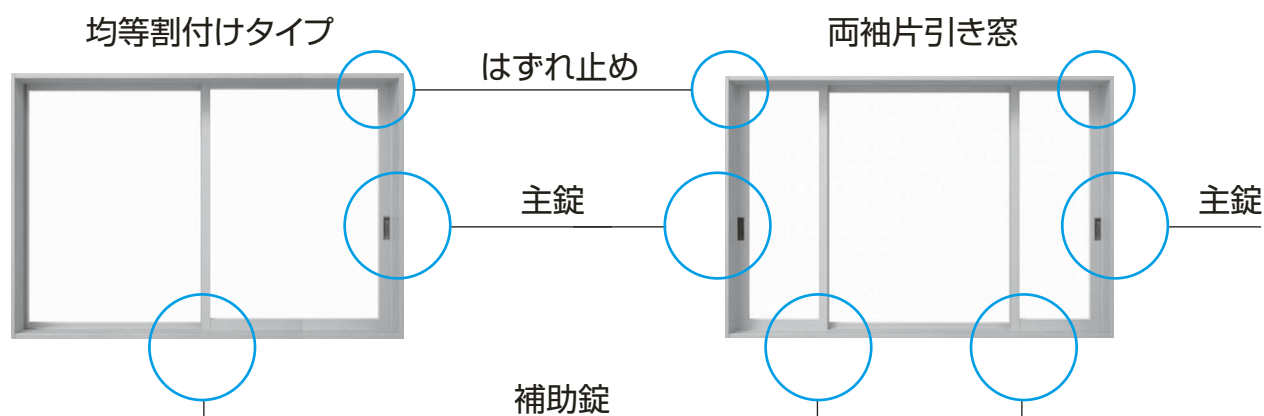
① ボールチェーンをコードフックからはずす

② 手前側のボールチェーンを引いてネットを上げる

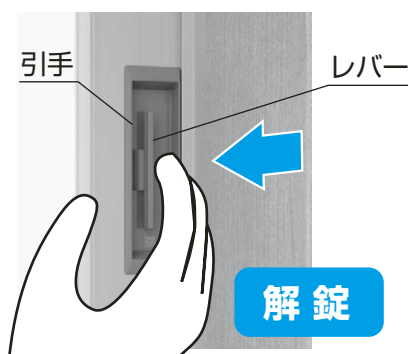
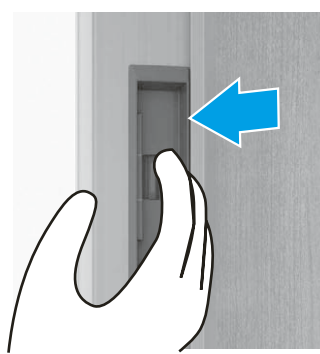
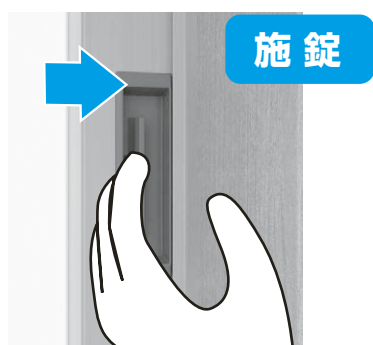
③ ボールチェーンをコードフックにかける

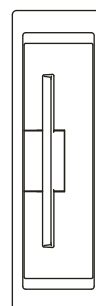
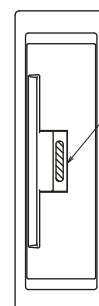
商品の特長 【片引き窓・両袖片引き窓】

● 商品の特長

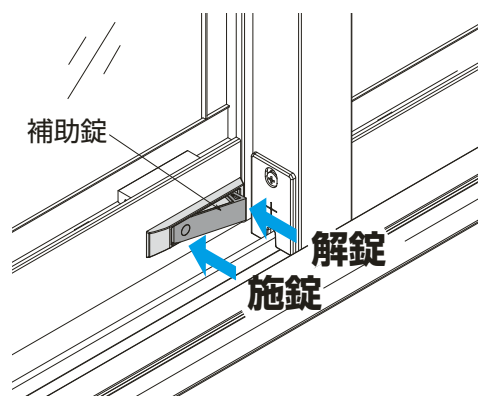
・内窓を左右にスライドして開閉する窓です。
・戸先錠（主錠）は窓を閉めると自動的に施錠されます。（P.22）
・戸先錠（主錠）1ヶ所と補助錠1ヶ所の計2ヶ所の錠を装着しています。
・網戸は、片引き窓用スライド網戸の設定があります。（オプション　P.23）

● 各部の名称

● 各部の名称

・外出、就寝時は必ず窓を閉め、主錠だけでなく補助錠を必ずかけてください。
・戸先錠は窓を閉めると自動的に錠がかかります。戸先錠がかかった状態では、外部から窓を開くことはできません。

● 戸先錠（主錠）の操作方法

●主錠は開閉操作と施解錠操作がワンタッチで行えます。

① レバーに手をかけレバーを倒す

② そのまま窓を開ける

③ 引手に指を掛け、しっかり窓を閉める

※窓を閉めると自動的に施錠されます。

④ 施錠されたことを確認する

※窓が閉まっていないと赤色表示が見えます。

● 補助錠の操作方法

解 錠

飛び出た補助錠を押す

施 錠

補助錠のくぼみを押す

・大きな網戸は、網戸があることに気付かず網戸に衝突する場合があります。衝突防止のために網戸の存在を目立たせる網戸用サインプレート（オプション）を貼るなどの配慮をお願いします。

● 各部の名称（室内側）

ネット

下部はずれ止め

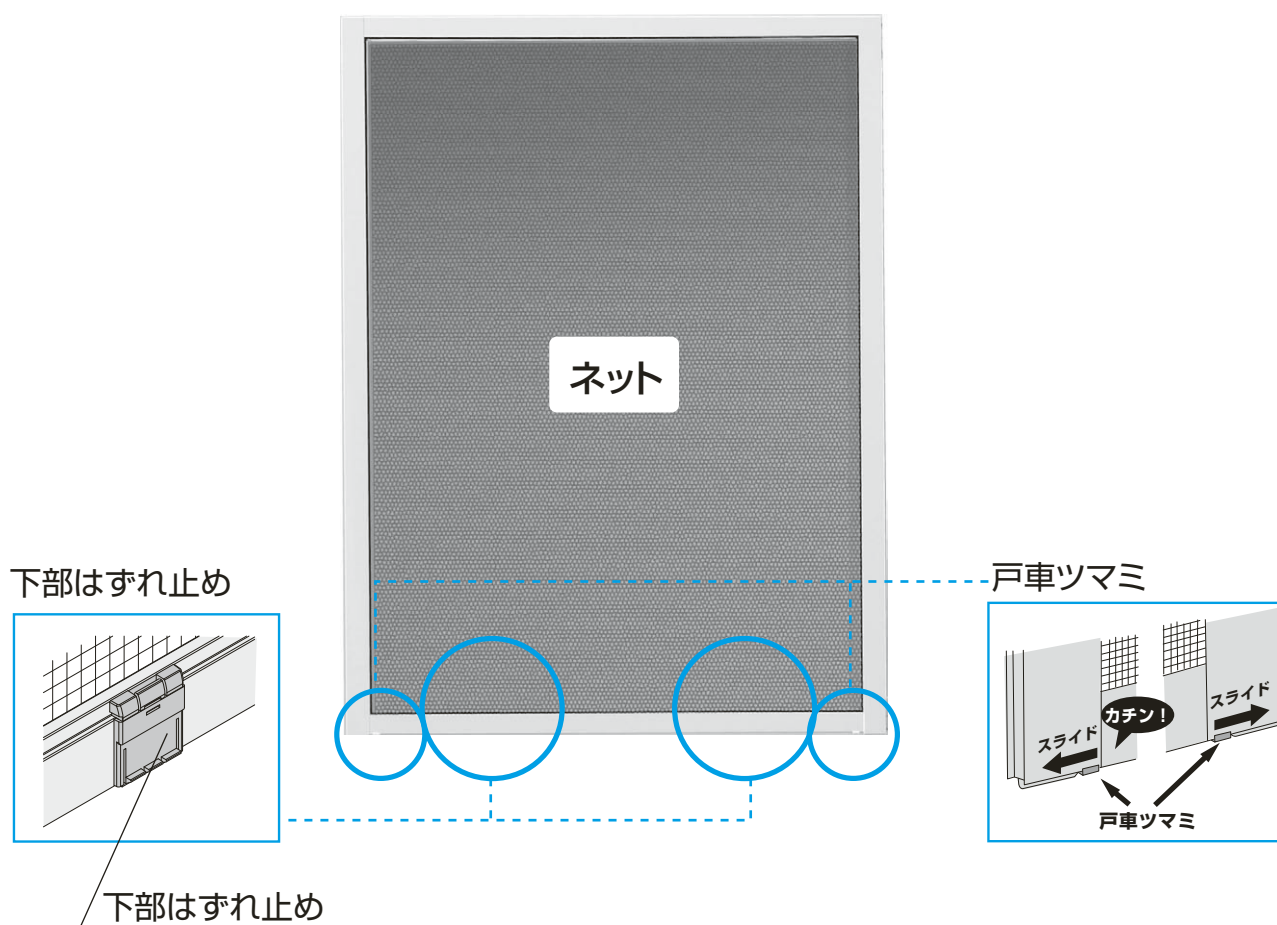
戸車ツマミ

スライド

カチン！

スライド

戸車ツマミ

下部はずれ止め

※引違い窓で横幅が大きなサイズ用の網戸は仕様がことなり、引違いテラス戸用網戸と同じ仕様になります。（P.35）

● 商品の特長

・高い場所に、換気を目的に取り付ける窓です。
・操作は、高窓用オペレーターまたはリモコンで開閉します。

● ご使用上の注意

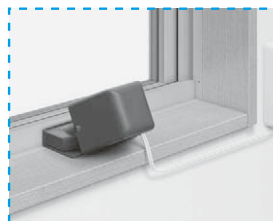
お願い

・風の強い時は窓を閉めてください。
窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

・ボールチェーンを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。

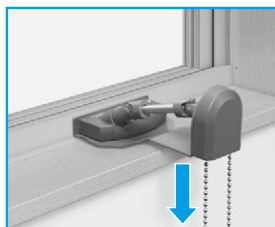
● 各部の名称

（室外側）　（室内側）

電動ユニット

高窓用オペレーター

● 窓の開閉方法

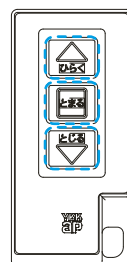
高窓用オペレーターの場合

開け方

・室内側から見て左側のボールチェーンを引く

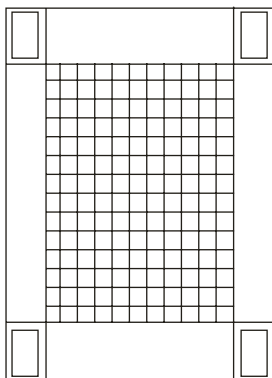
閉め方

・室内側から見て右側のボールチェーンを引く

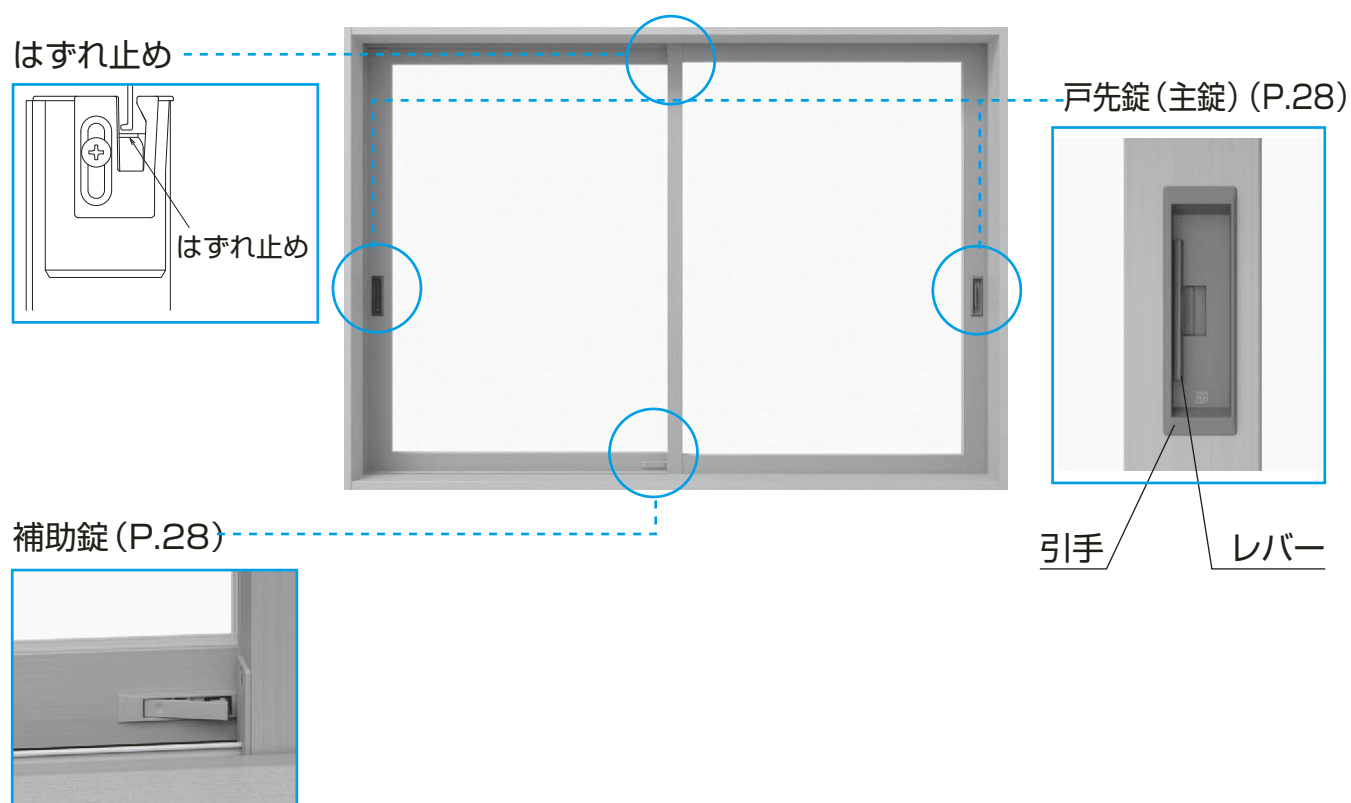
● 電動ユニットの場合（リモコン操作）

窓を開ける	【ひらく】ボタンを押す
停止させる	【とまる】ボタンを押す
窓を閉める	【とじる】ボタンを押す

● 商品の特長

・室内側に開けることができる網戸です。

・室内側から網戸の脱着ができます。

● 商品の特長

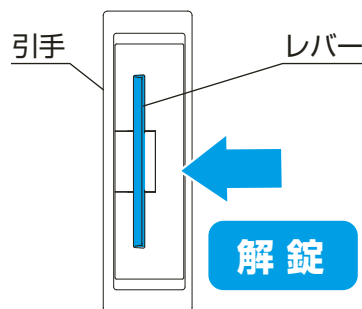
・内窓を左右にスライドして開閉する窓です。
・戸先錠（主錠）は窓を閉めると自動的に施錠されます。（P.28）
・戸先錠（主錠）1ヶ所と補助錠1ヶ所の計2ヶ所の錠を装着しています。

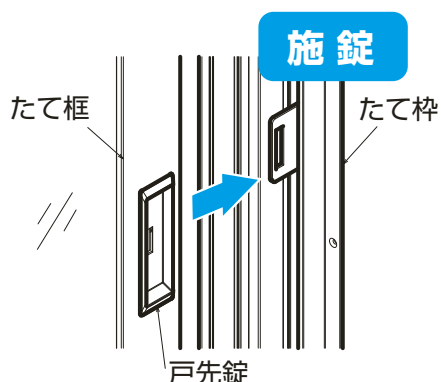
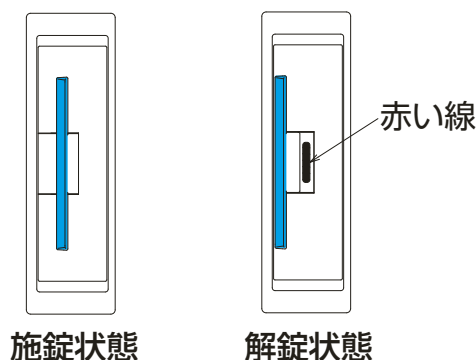
● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出時や就寝時は必ず窓を閉め、戸先錠（主錠）だけでなく補助錠も必ず施錠してください。

● 戸先錠（主錠）の操作方法

・戸先錠（主錠）は窓を閉めると自動的に錠がかかります。
戸先錠がかかった状態では、外部から窓を開くことはできません。

●主錠は開閉操作と施解錠操作がワンタッチで行えます。

① レバーに指をかける

② そのまま窓を開ける

③ 引手に指を掛け、しっかり窓を閉める
※窓を閉めると自動的に施錠されます。

④ 施錠されたことを確認する
※窓が閉っていないと赤色の表示が見えます。

● 補助錠の操作方法

解 錠

飛び出た補助錠を押す

施 錠

補助錠のくぼみを押す

● 商品の特長（手動）

- 手動でシャッターの開閉ができます。
- 操作ロープで高い位置にあるシャッターを閉めることができ、低い位置でも立ったまま操作できます。（P.30）
- シャッターを閉めきると、自動的にロックがかかります。（P.31）
- 内側の窓とあわせて施錠することで防犯性が高まります。

● 各部の名称

お願い

・開閉時、周りに人がいないことを確認してください。
また開閉中は下を通らないでください。手や足をはさまれるおそれがあります。

・強風雨時にはシャッターだけを閉めないでください。
シャッターの破損や漏水のおそれがありますので、必ず内側の窓も閉めて、施錠してください。

・シャッターボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形して故障したり、転落によりけがをするおそれがあります。

・防犯のためシャッター内側の窓は必ず施錠してください。

・シャッターが凍結した場合、解けるまで開閉操作しないでください。無理な操作は、故障につながります。

・左右の片寄りを防ぐため、座板の中央を持って開閉してください。

・雨などで濡れている場合、水滴が落ちることがありますので、ゆっくり開閉してください。

・シャッターを閉めても外からの光を完全にさえぎることはできません。必要に応じて、遮光カーテンなどの併用をお願いします。

・シャッターを開ける時は、操作ロープをシャッターに巻き込まないようにしてください。
全開時には、操作ロープを下に垂らしてお使いください。

操作ロープ

● シャッターの開け方（手動）

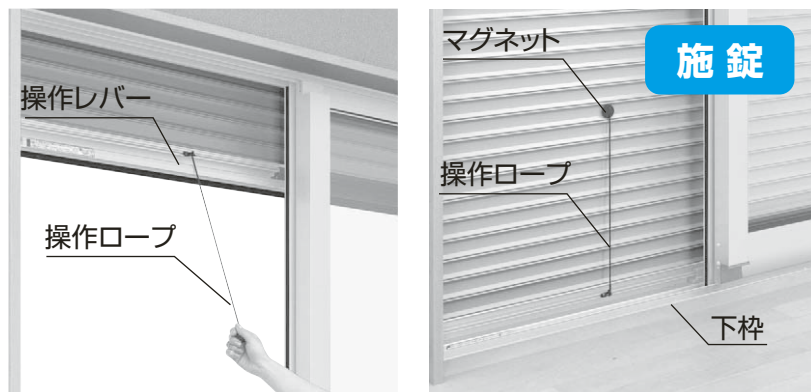
操作レバーの場合

① 操作レバーに手を掛けて持ち上げ、解錠する

② 座板の中心付近に手をかけて持ち上げる

操作ロープの場合

① 操作ロープを持ち、上に引き上げる

● シャッターの閉め方（手動）

① 操作レバーまたは操作ロープをも持ち、下に引き下げる

② 下枠とシャッターの間に操作ロープをはさまないよう注意して閉めきる
※シャッターを閉めきると、自動的にロックがかかります。

③ 閉めきった後、操作ロープをシャッターに貼り付ける（マグネット付き）

● 商品の特長

・窓を左右にスライドし開閉する窓です。
・戸先錠（主錠）と補助錠をあわせてお使いいただくことで、より防犯性が高まります。（P.34）

● 各部の名称

はずれ止め

はずれ止め

外窓

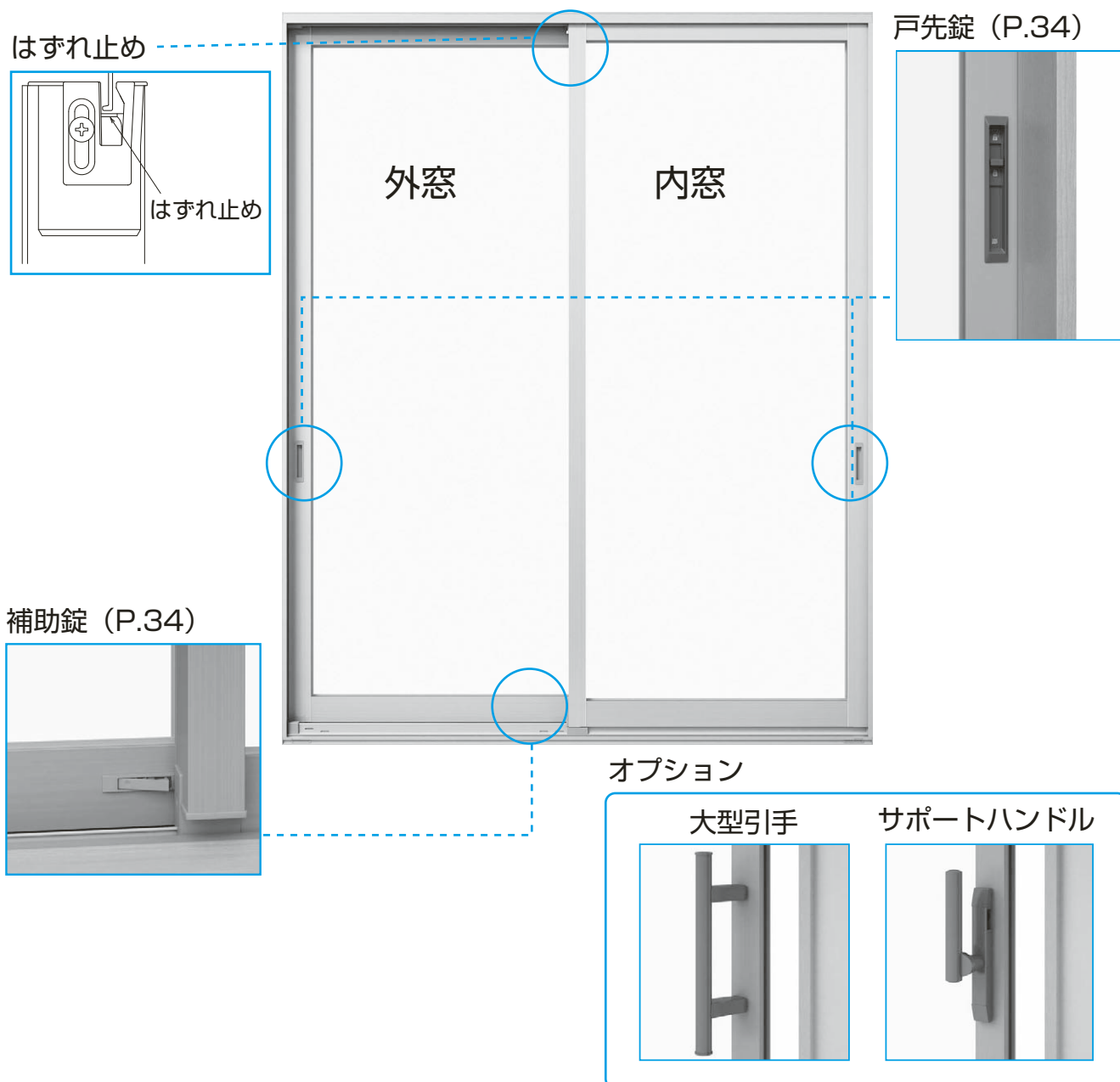
内窓

戸先錠（P.34）

補助錠（P.34）

オプション

大型引手

サポートハンドル

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出時や就寝時は必ず窓を閉め、戸先錠（主錠）だけでなく補助錠も必ず施錠して下さい。

● 戸先錠（主錠）の操作方法

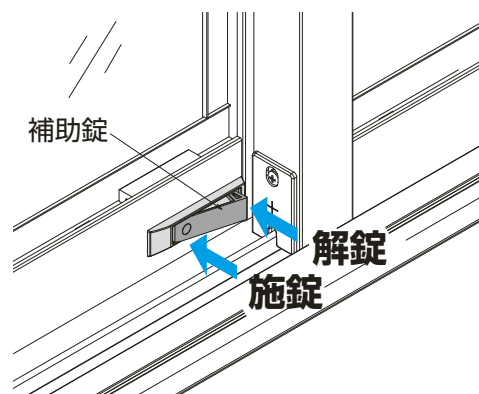
施 錠

戸先錠つまみを下げる

解 錠

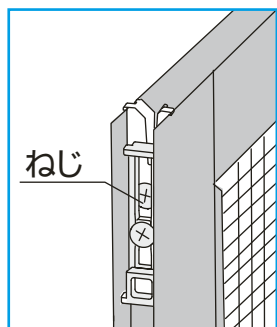
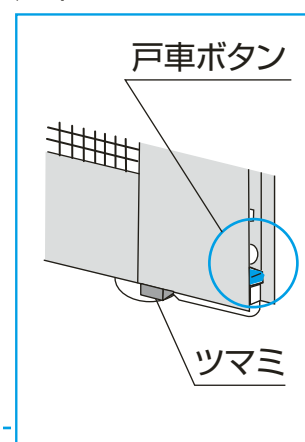
戸先錠つまみを上げる
※赤いラインが見えます。

● 補助錠の操作方法

解 錠

飛び出た補助錠を押す

施 錠

補助錠のくぼみを押す

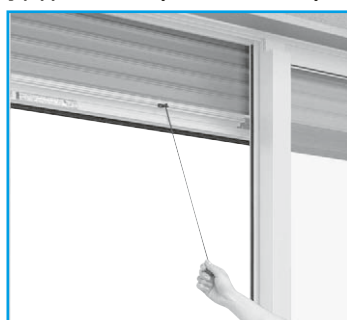
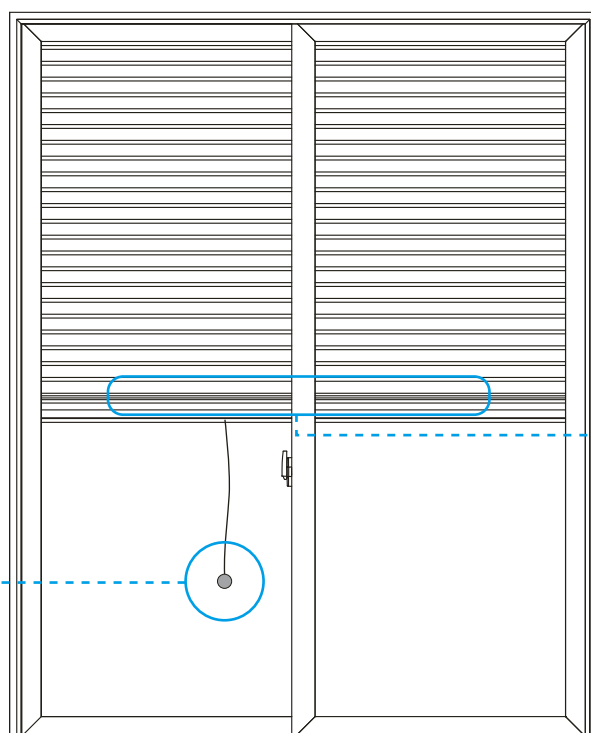
・大きな網戸は、網戸があることに気付かず網戸に衝突する場合があります。衝突防止のために網戸の存在を目立たせる網戸用サインプレート（オプション）を貼るなどの配慮をお願いします。

● 各部の名称

● 商品の特長（手動）

・手動でシャッターの開閉ができます。
・操作ロープで高い位置にあるシャッターを閉めることができ、低い位置でも立ったまま操作できます。(P.30)
・シャッターを閉めきると、自動的にロックがかかります。(P.31)
・内側の窓とあわせて施錠することで防犯性が高まります。

● 各部の名称

室内側

操作ロープ(P.30~31)

操作レバー(P.30)

● シャッターの開け方・シャッターの閉め方

・シャッター付片引き窓・シャッター付引違い窓と同じです。(P.30参照)

お手入れ方法

商品を大切に長く使うために、商品の材質に応じた方法でこまめに、お手入れすることが大切です。お手入れしないままで放置すると、表面に付着した汚れは、しみや腐食・さびの原因となってしまいます。
汚れが付いたら早めにお手入れください。汚れを早めにお手入れすることが、商品を長持ちさせる最良の方法です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食・さびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。

・金属タワシや毛の硬いカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。シンナー、ベンジン、アセトンなどの溶剤は使用しないでください。また、塩素系薬品（漂白剤、カビ取り剤など）は絶対に使用しないでください。

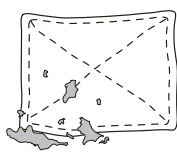
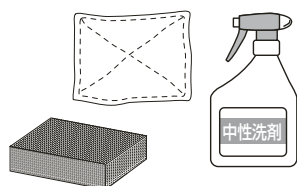
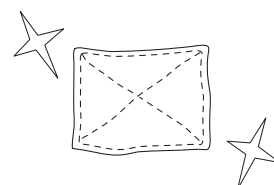
● 樹脂製品のお手入れ方法

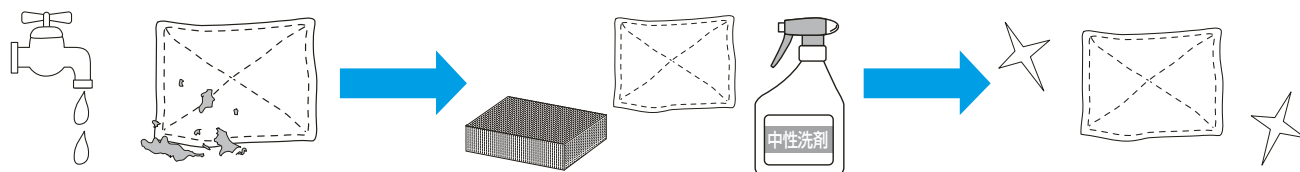
【薬品への配慮】
・有機溶剤が樹脂の表面に付着すると、ひび割れやはく離が生じますので、お手入れには使用しないでください。

・塩素系薬品（次亜鉛素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が樹脂の表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはく離が発生するおそれがあります。

【キズへの配慮】
・日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などが付いたままふき掃除をすると、表面にキズが付くおそれがあります。

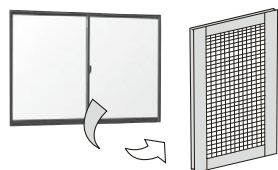
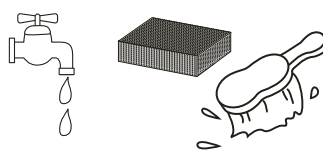
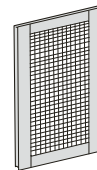
【熱への配慮】
・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。

①柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とす

②柔らかい布・またはスポンジで全体を水ぶきする
※水で落ちない場合は、中性洗剤（1～2%水溶液）を使い、軽く洗い流します。

③乾いた布で十分に水分をふき取る

● アルミ製品のお手入れ方法

①柔らかい布に水を浸し、表面に　ついたホコリ・砂などを洗い落とします。

②柔らかい布またはスポンジで全体を水拭きをします。
※水拭きで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い軽く洗い流します。

③乾いた布で、十分に水分を拭き　取ってください。

● 網戸（ネット部分）のお手入れ方法

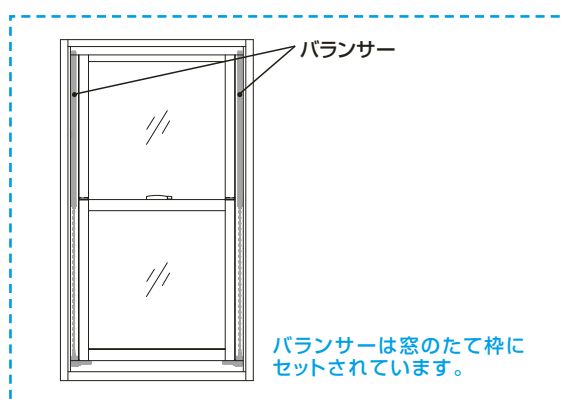
・汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%水溶液）を使用してください。保管する場合は、高温になる場所は避けて、屋内で立掛けてください。

①窓から網戸をはずす
※網戸のはずし方は各商品のお手入れ方法を参照してください。

②ネットがはずれないように柔らかなブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いする

③水を十分拭き取り、乾燥させる

お願い

・下窓の室外側ガラス面を掃除する際や、脱着するとき以外、下窓を室内側に倒した状態にしないでください。

・下窓を室内側に倒した状態での放置、窓の開閉や無理な荷重をかけることをしないでください。
無理な力がかかると破損や開閉不具合のおそれがあります。

・必ず両手で静かに操作し、窓に無理な荷重をかけないでください。

・バランサーには潤滑油などを塗布しないでください。

● 下窓のお掃除

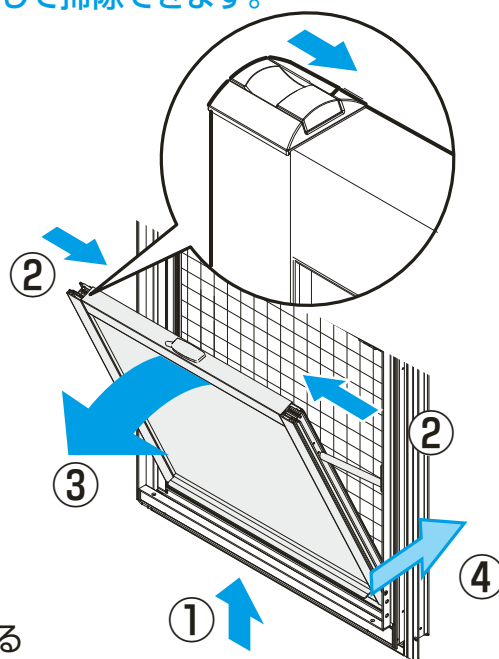
●下窓の室外側ガラス面を掃除する場合、下窓を室内側に倒して掃除できます。

① 下窓を10cm程度引き上げる

② 左右の内倒しツマミを、矢印方向に同時に動かす
※窓をしっかり支えてください。
窓が室内側に倒れてくるおそれがあります。

③ 下窓を室内側に倒す
下窓の室外側ガラス面が掃除できます。

④ 清掃後、下窓を起こし内倒しツマミが元の位置に戻ったことを確認する
※下窓を起こす際、窓に指や手をはさまないようにご注意ください。

⑤ 窓を前後にゆすり、内側に倒れないことを確認する

● 上窓のお掃除

※上窓の室外側ガラス面を掃除する場合、網戸をはずしてから掃除してください。
（網戸のはずし方：P.41参照）

● クレセント（主錠）の調整方法

① レバーを左にまわす【解錠】

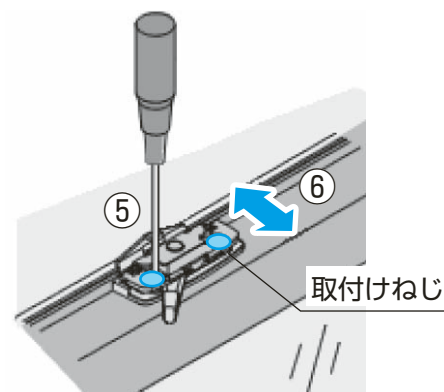
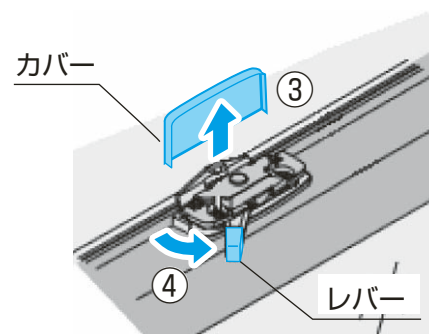
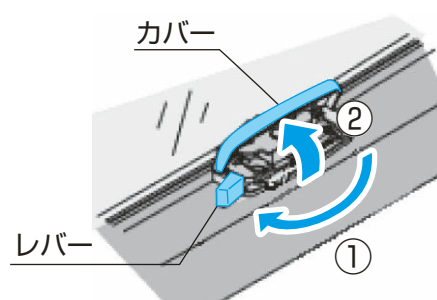
② 両手でカバーを軽く手前に
引くようにして開く

③ カバーをはずす

④ レバーを少し中央側へ寄せる

⑤ 取り付けねじをゆるめる
※ 取付けねじは絶対にはずさないでください。

⑥ クレセントを前後に動かし調整する
※ 前後方向へ2mm動かせます。

⑦ 調整後、ねじをしめ、カバーを取付ける

❗落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかってないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

一読

・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認の上、安全に十分注意して行ってください。

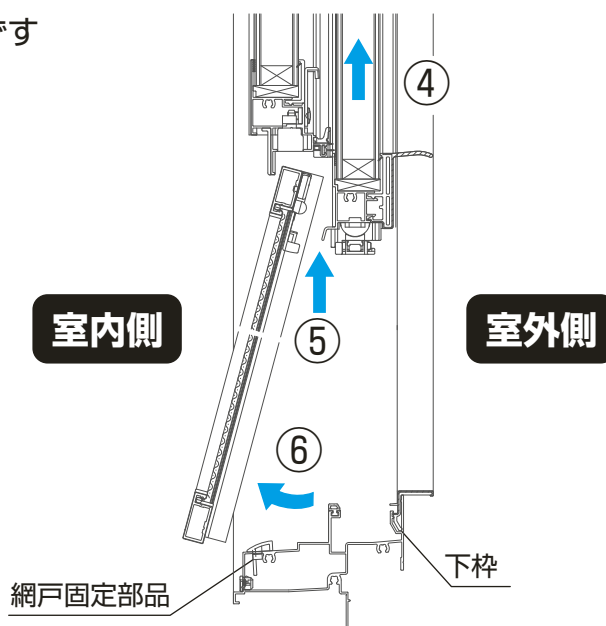
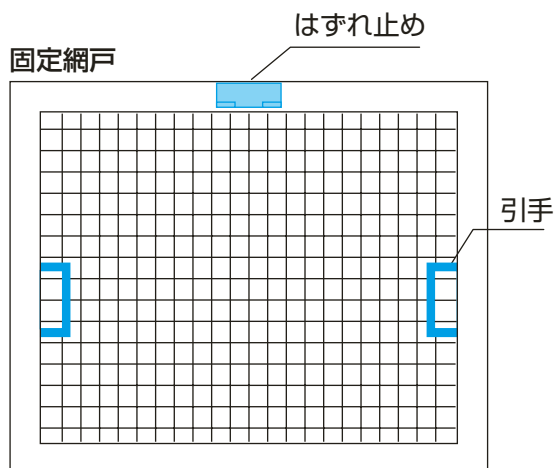
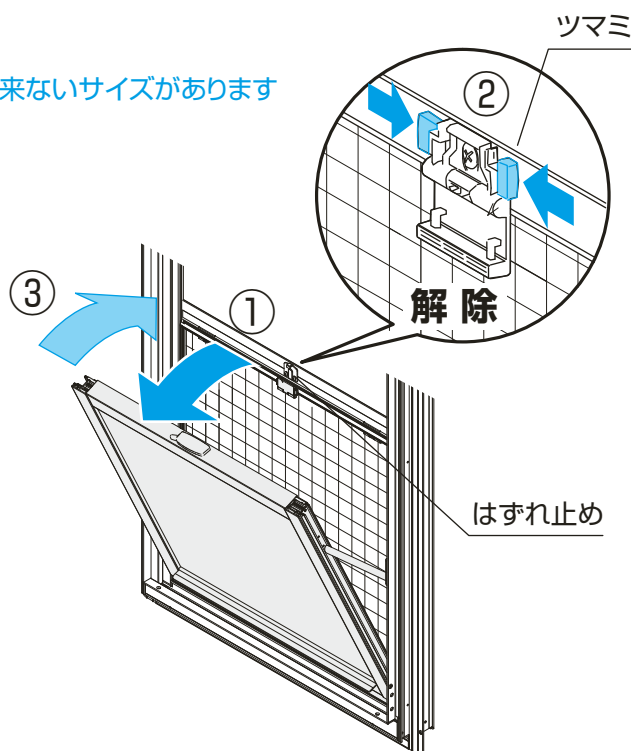
● 網戸のはずし方

※面格子付き片上げ下げ窓では一部室内側から脱着出来ないサイズがあります
※網戸のサイズによりはずれ止めの数は異なります

① 下窓のお掃除と同じ要領で窓を内倒しにする（P.39参照）

② 網戸のはずれ止め両端の内倒しツマミを同時に押してはずれ止めを解除する

下窓を室内側に倒した状態で網戸をはずさないでください。

③ 下窓を起こす
④ 下窓を全開にする
⑤ 網戸の引手を持ち網戸を上に持ち上げる
⑥ 網戸下部を室外側に持ち出し網戸をはずす
⑦ 網戸を室内に取込む

● 網戸の取付け方

① 窓を全開にする

② 網戸の引手を持ち網戸を室外に出す
（※はずれ止めが解除状態か確認する）

③ 網戸を上部の溝に差し込む

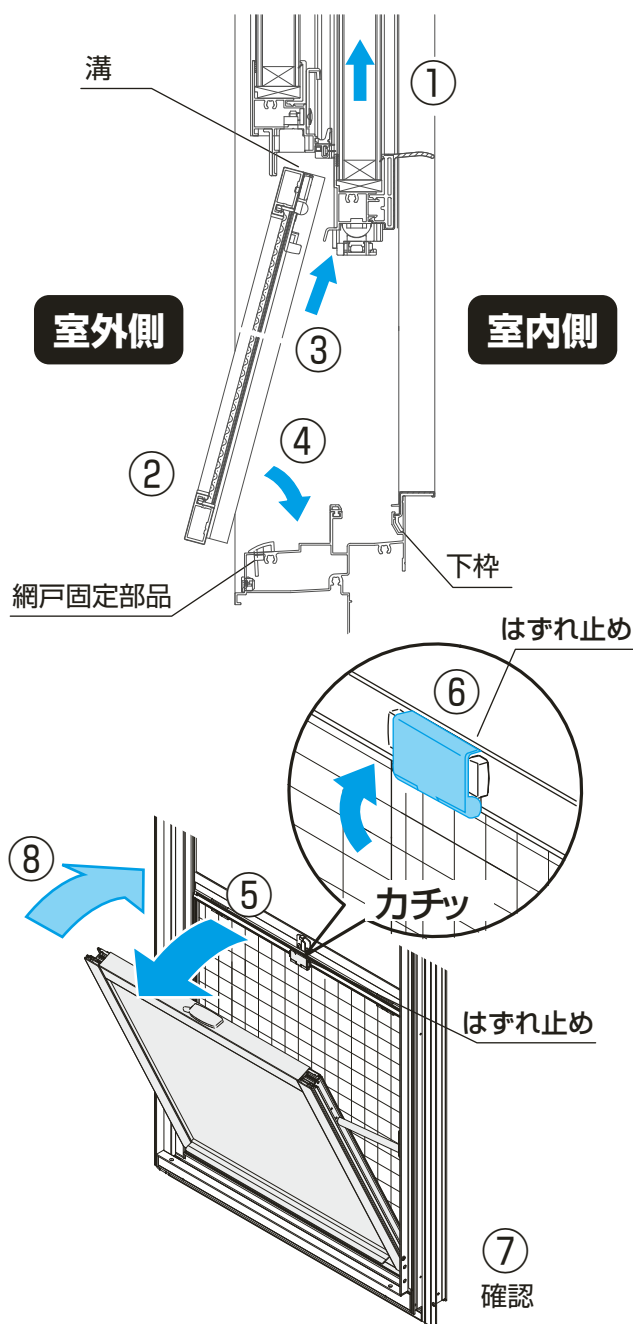
④ 網戸下部を手前に引き寄せ、下枠の網戸固定部品の内側に網戸をおろす
※網戸の引手を持ち室外側へ押しても大きく動かないことを確認してください。

⑤ 下窓のお掃除と同じ要領で窓を室内側に倒す（P.39参照）

⑥ はずれ止めのカバーを起こし、カチッと音がするまで押す

⑦ 網戸取付け後、網戸がはずれないことを必ず確認する

⑧ 下窓を起こしツマミが元の位置に戻ったことを確認する

⑨ 窓をもとの状態に戻す

・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認の上、安全に十分注意して行ってください。

● 網戸の取付け方

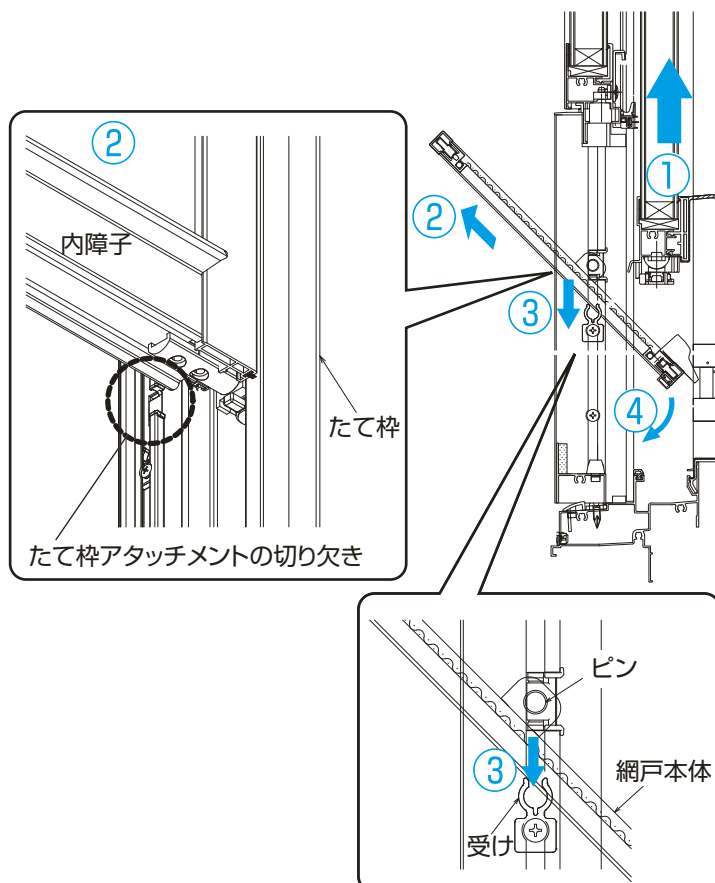
① 窓を全開にする。

② 網戸のピンをたて枠アタッチメント切りかき部に差し込む

③ そのままカチッと音がするまで網戸を下にさげる。（網戸がセットされる）

④ 開閉レバーを持って網戸を閉める。

⑤ 開閉レバー【ヨコ】にしてロックする。

※網戸開閉の際は、窓を全開にして行ってください。

● 網戸のはずし方

※網戸をはずす際は、取付け方の逆手順で行ってください。

・ガラスが破損した場合は、弊社メンテナンスセンターまで
・お問合せください。 （ 0120-099-413 ）

・室外側から掃除する際、脚立などをご使用になる場合は、周囲の安全に十分注意して行ってください。

● 窓のお掃除

※この窓は開閉しませんので、室内側は室内から、室外側は室外から掃除してください。

※室外側から掃除する場合、市販の柔らかい布やスポンジ付きの柄の長い掃除用具を使って掃除してください。

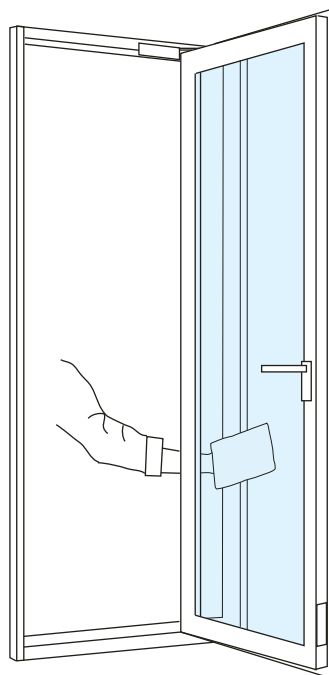
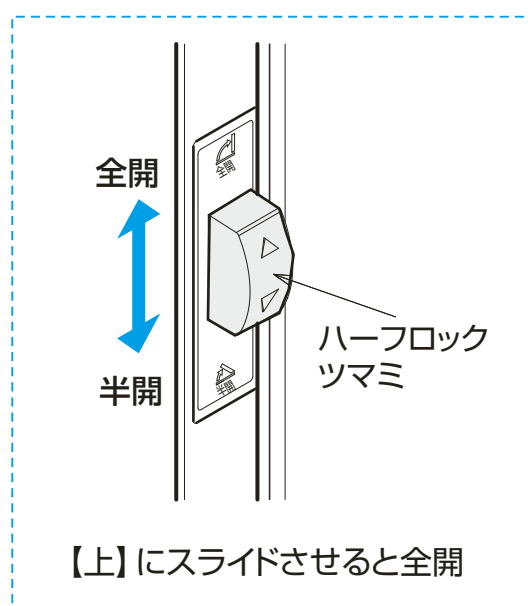
・ハーフロックの操作は窓を閉めた状態で行ってください。
・窓の室外側ガラス面を清掃する際には、窓に無理な力をかけないでください。

●窓を全開にすると90°まで開き、窓の外側の掃除ができます。

● 窓のお掃除 ※網戸のお手入れ方法（P.48）

【全開にする場合】

① 窓が閉った状態で、ハーフロックツマミを【上】にスライドさせ全開にする
② ハンドルを90°まわして解錠する（ハンドルは【ヨコ】）
③ ハンドルを【ヨコ】解錠状態にしたまま、窓を室外側へ押し出しで開く
（※窓は約90°開きます。）

【上】にスライドさせると全開

※取付ける網戸の種類によっては、窓と窓枠のすき間がせまくなることがあります。
※必要に応じて柄の付いた掃除用具などをご使用ください。

・窓の室外側ガラス面を掃除する以外、開放状態にしないでください。

・全開放状態での放置や、無理な荷重をかけないでください。無理な力がかかると破損や開閉不具合のおそれがあります。

・ガラス重量がありますので、しっかり確実に手で押さえて開けてください。

●窓の室外側ガラス面を掃除する場合、窓を約約62°または約90°開放（全開放状態）にして掃除ができます。（設定の無いサイズがあります）

- 350≦H≦570 ‥‥約90°
- 570<H≦770 ‥‥約62°
- 770<H≦970 ‥‥設定はありません

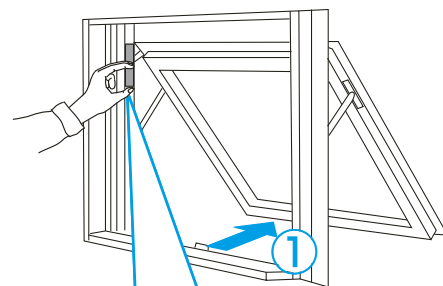
● 窓のお掃除 ※網戸のお手入れ方法（P.50）

① 窓を全開にする手前で止める

② ストッパーの解除ツマミを矢印方向に押しながら窓を更に開く

※窓が約約62°または約90°まで開くと自動でロックされます。

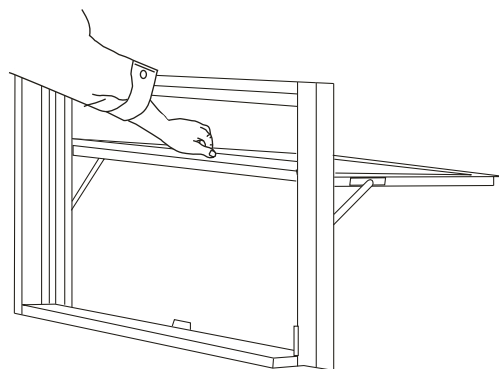
窓の室外側ガラス面が掃除できます。

手をはさまないようしっかり窓を押さえながら操作してください。

③ 清掃後、窓を外側へ押した状態で、ストッパーの解除ツマミを押して窓を閉める

※指をはさまないよう閉じ始めたら解除ツマミから指を離してください。

※取付ける網戸の種類によっては、窓と窓枠のすき間が狭くなることがあります。

※必要に応じて柄の付いた掃除用具などをご使用ください。

メンテナンス方法【横引きロール網戸】

こんな場合は・・・

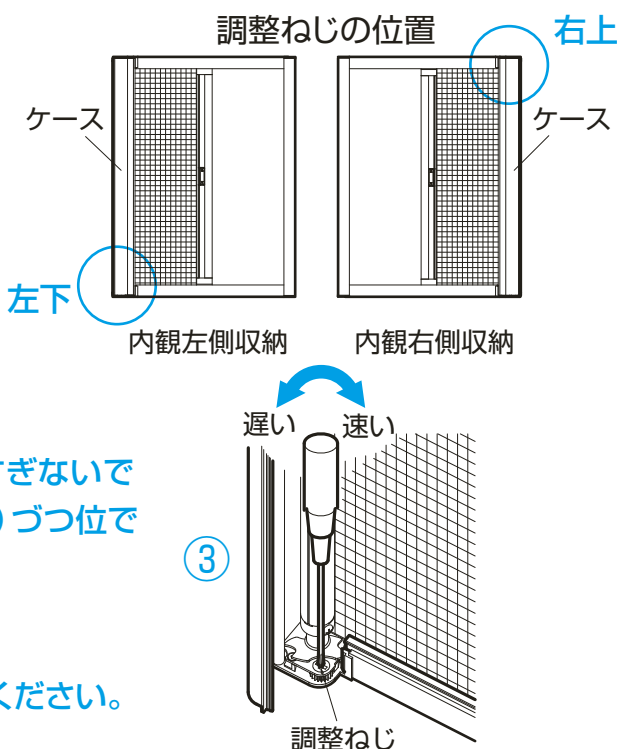
・網戸が巻き取られない、スムーズに巻き取られない！

・調整を行う前に、網戸を2～3回開閉しネットを巻き直してください。
ネットにくせのあるまま調整をすると、調整時と使用中の巻き取りスピードが異なる可能性があります。

① ケースのカバーを開く

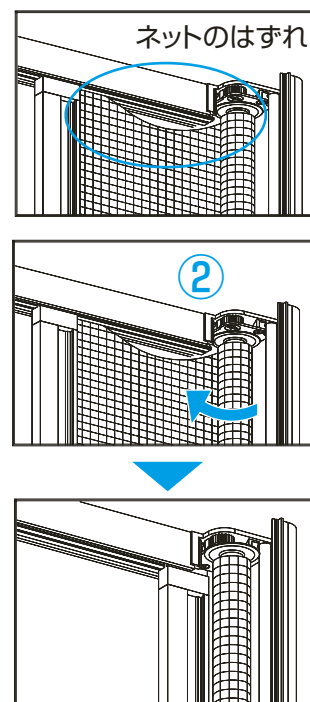
② 可動桟を持ち、網戸を引き出す
※網戸を全閉状態にすると、可動桟が固定されます。

③ 調整ねじをまわし、巻き取りスピードを調整する
※時計まわりにまわすと速くなる。
※反時計まわりにまわすと遅くなる。
※調整ねじをまわすときは一度にまわしすぎないでください。目安として4分の1回転（90度）づつ位で調整します。

※それでも巻き取られない場合は、
当社メンテナンスセンターまでお問い合せください。
（0120-099-413 ）

・レールの溝からネットがはずれてしまった！

① ケースのカバーを開く

② 手でネットを最後まで巻き戻す
※ネットがレールに入ります。
※ネットが折れないようにゆっくりと巻き戻してください。

※それでもネットがレールに入らない場合は、
当社メンテナンスセンターまでお問い合せください。
（0120-099-413 ）

・汚れが落ちない場合は、薄めた中性洗剤（1～2%水溶液）をご使用ください。

・お手入れなどでケースのカバーを開閉する際は、指をはさまないよう注意してください。ケースのカバーを開くとカバーのかどや端部が露出した状態となりますので、接触してケガをしないように注意してください。

・掃除の際は、窓を開けて行ってください。
窓を閉じた状態で網戸を下げるとハンドルに当たります。

●ケースのカバーを開けるとネットの室外面の掃除ができます。

● 網戸のお掃除

【ネット室内面のお掃除】

① 窓を開け、網戸を閉める

② ホコリを取り除いた後、柔らかい布またはスポンジに水を浸し、軽く拭き取る

③ 水を十分に拭き取り、乾燥させる

【ネット室外面のお掃除】

① 窓を開ける

② 網戸を引き出す（網戸を閉める）

③ ケースのカバーを手前に引いて開ける

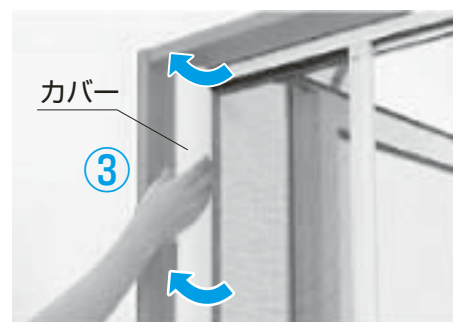
④ かたく絞った柔らかい布でケース内のネットをたてに拭く
※拭いている面が室外面です。

⑤ 可動桟を押さえながら解除ツマミを上に上げて固定を解除する

⑥ 可動桟を持ったまま網戸を約5cm巻き戻す

⑦ ④、⑥の工程を繰り返し、少しづつネットを拭く

⑧ 清掃後ケースのカバーを閉める

【ネット室外面のお掃除】

こんな場合は・・・

・スムーズに網戸が開閉できない！
・ネットが平行に上がらない！

① 奥側のボールチェーンを引き、ネットをケースから出しきる

② 手前側のボールチェーンを引き、ゆっくりとネットを巻き上げる

※それでも開閉がスムーズにならない場合は、当社メンテナンスセンターまで
お問い合せください。（ 0120-099-413 ）

・レールからネットがはずれてしまった！

① 手前側のボールチェーンを引き、ネットをゆっくり最後まで巻き上げる

② 奥側のボールチェーンを引き、ネットを下げると、レールにネット端部が入る

※それでもレールにネットが入らない場合は、当社メンテナンスセンターまで
お問い合せください。（ 0120-099-413 ）

・汚れが落ちない場合は、薄めた中性洗剤（1～2%水溶液）をご使用ください。

・お手入れなどでケースのカバーを開閉する際は、指をはさまないよう注意してください。ケースのカバーを開くとカバーのかどや端部が露出した状態となりますので、接触してケガをしないように注意してください。

・掃除の際は、窓を開けて行ってください。
窓を閉じた状態で網戸を下げるとハンドルに当たります。

●ケースのカバーを開けるとネットの室外面の掃除ができます。

● 網戸のお掃除

【ネット室内面のお掃除】

① 窓を開け、網戸を閉める

② ホコリを取り除いた後、柔らかい布または
スポンジに水を浸し、軽く拭き取る

③ 水を十分に拭き取り、乾燥させる

【ネット室外面のお掃除】

① 窓を開ける

② 奥側のボールチェーンを引いて
ネットを引き下げる（網戸を閉める）

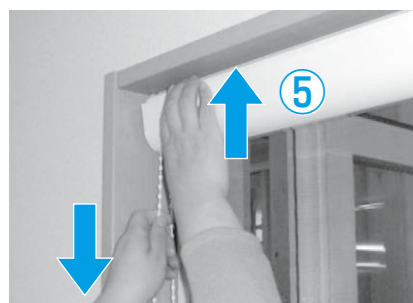
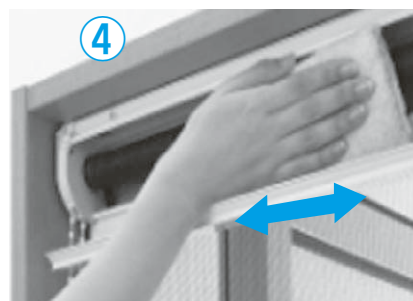
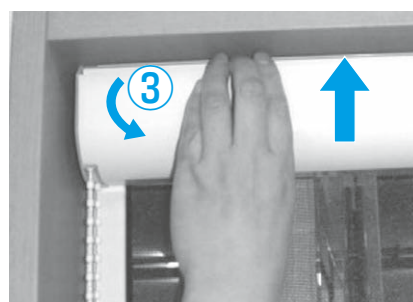
③ ケースのカバーを上に持ち上げながら手前に開ける

④ かたく絞った柔らかい布でケース内のネットを横に拭く
※拭いている面が室外面です。

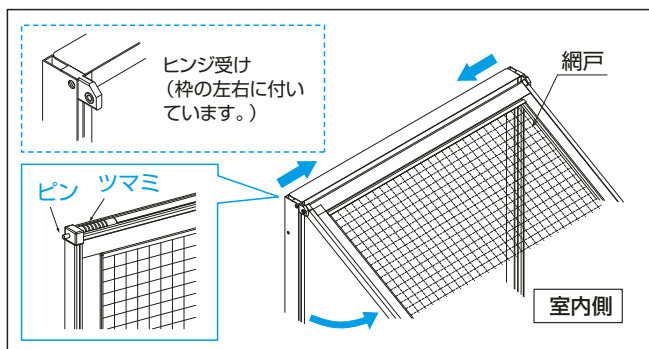
⑤ ケースのカバーを持ち上げながら手前側の
ボールチェーンを引き、網戸を約5cm巻き上げる

⑥ ④、⑤の工程を繰り返し、少しづつネットを拭く

⑦ 清掃後ケースのカバーを閉める

【ネット室外面のお掃除】

・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認の上、安全に十分注意して行ってください。

● 内開き網戸のはずし方・取付け方

はずし方

①網戸を開く。
②片手で網戸をしっかり支えながらツマミを内側（矢印方向）に動かす。
③ツマミを動かした状態で手前に引く。

取付け方 はずし方の逆の手順で行います。

⚠注意

❗お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・網戸が付いている場合は、窓用スライド網戸のはずし方（P.57参照）に従い網戸をはずしてから窓をはずしてください。
・お手入れなどで必要な場合以外、窓をはずさないでください。
・ガラスの入った窓は重量が重くなっています。窓の取はずし、取付けを行う際は、2人以上で作業を行ってください。取扱いには十分注意してください。

● はずれ止めの調整方法

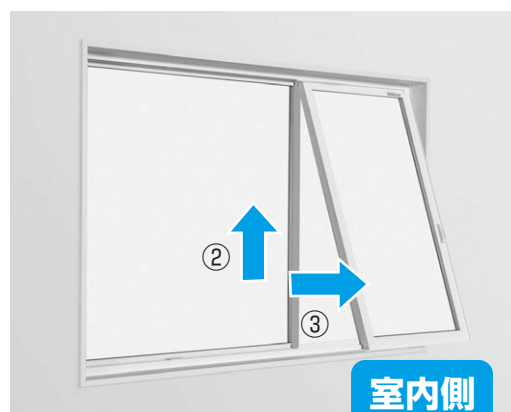
・引違い窓と同じです。（P.55参照）

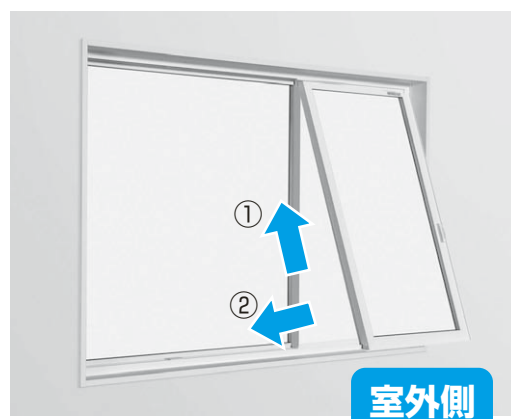
● 戸車の調整方法

・引違い窓と同じです。（P.55参照）

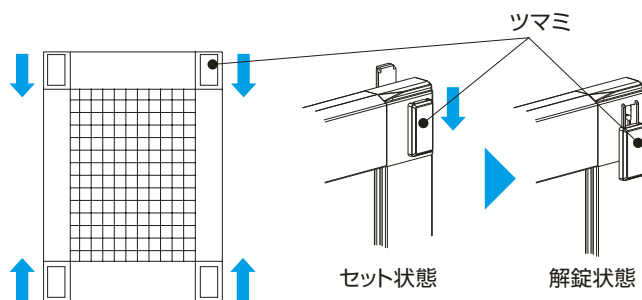
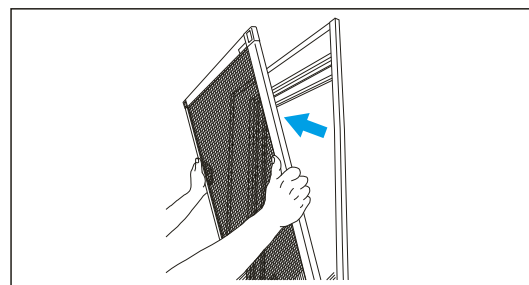
●お掃除や点検の際、内窓のみ取はずすことができます。

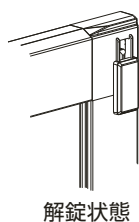
● 窓のはずし方

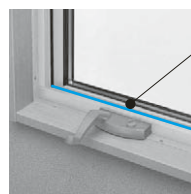
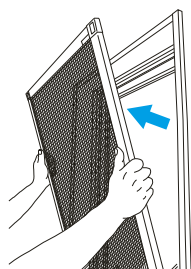
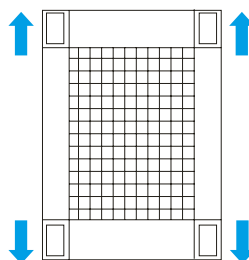
① 窓のはずれ止めを解除する（P.55参照）
② 窓を少しあける
③ 窓を持ち上げる
④ 窓の下部を手前に引いてはずす

● 窓の取付け方

① 窓を上枠の溝部にはめ込む
② 窓の下部を下枠レールにのせる
③ 窓のはずれ止めをセットする（P.55参照）
④ 窓をしめる

⚠注意

❗落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 網戸のはずし方

①窓を閉め、網戸を倒れないように押さえながら四隅に付いているツマミを下から順に矢印方向へスライドする

②網戸の上部を持ち、室内側（手前）に引く

● 網戸の取付け方

①窓を閉め、四隅のツマミを解除状態にする

下枠（青色部）に網戸をのせる

②網戸を下枠にのせる

③網戸を室外側に押す

④網戸が倒れないように押えながら、四隅についているツマミを上から順に矢印方向にスライドする
※はずれ止めがかかります。
⑤網戸を前後上下に軽く動かし、はずれないことを必ず確認する

⚠注意

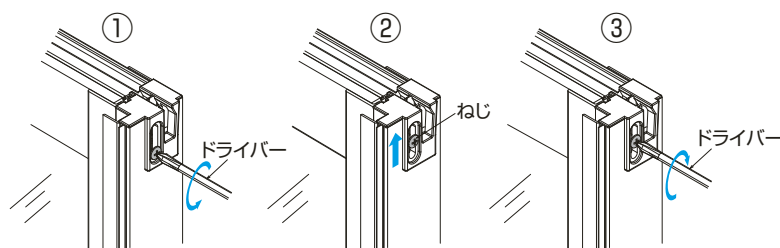
❗お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・網戸が付いている場合は、窓用スライド網戸のはずし方（P.57参照）に従い網戸をはずしてから窓をはずしてください。
・お手入れなどで必要な場合以外、窓をはずさないでください。

● はずれ止めの調整方法

●はずれ止めは、外窓上部に付いています。

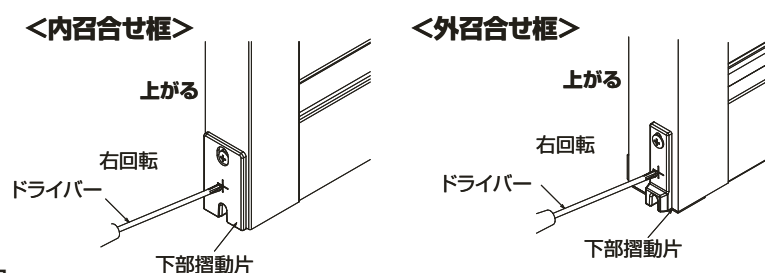
① ねじをゆるめる
※ねじは絶対にはずさないでください。
② はずれ止めを窓の開閉に支障のない範囲まで上げて調整する
③ 調整後、ねじをしっかりしめる

④ 窓を上下に動かし、レールからはずれないことを確認する

● 戸車の調整方法

●窓を閉めても窓がしっかり閉らない場合などは、戸車の調整を行ってください。
※戸車調整を行った時は、クレセント・クレセント受も調整してください。

① 穴ふさぎキャップ（室内側の内召合せ框のみ）をはずす

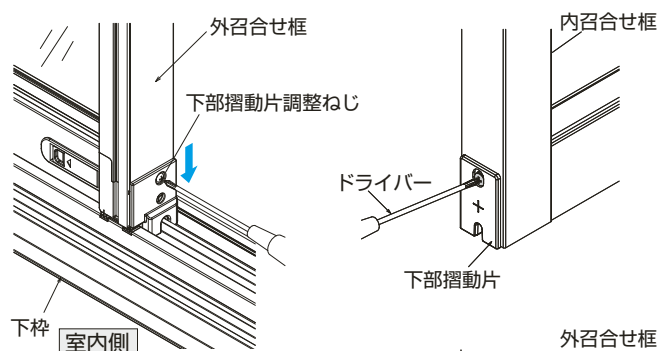
② ドライバーを回して調整する
※右にまわすと窓が上がります。
※左にまわすと窓が下がります。

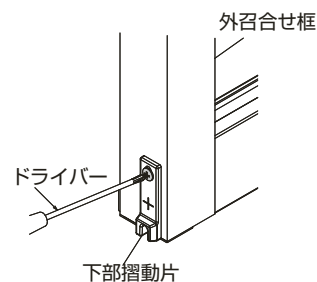
③ 調整後、穴ふさぎキャップ（室内側の内召合せ框のみ）を付ける

片引き窓・両袖片引き窓の場合、内召合せ框の調整のみです。

●下部調整片の調整方法

① ねじをゆるめる
※ねじは絶対にはずさないでください。

② 下部調整片を開閉に支障のない範囲まで下げて調整する

③ 調整後、ねじをしっかりしめる

防犯仕様の場合

●クレセント（主錠）をかけても窓ががたつく場合などは、クレセントやクレセント受けの調整を行ってください。

● 窓のはずし方

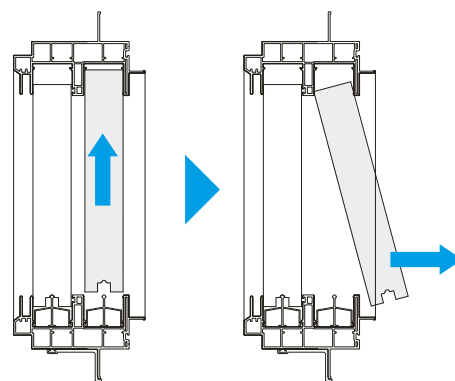
① 室内側の窓を少しあける

② 窓を上に持ち上げ下部を手前に引いてはずす

③ 外側の窓のはずれ止めを解除する（P.55参照）

④ 室外側の窓を少しあける

⑤ 窓を上に持ち上げ下部を手前に引いてはずす

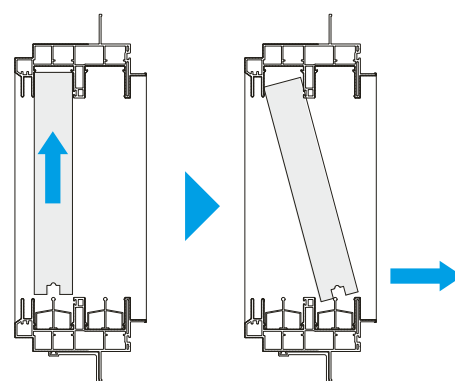
内障子

● 窓の取付け方

① 室外側の窓を上枠のレールにはめ込み、下部を下枠レールにのせる

② 外側の窓のはずれ止めをセットする（P.21参照）

③ 室内側の窓を上枠のレールにはめ込み、下部を下枠レールにのせる

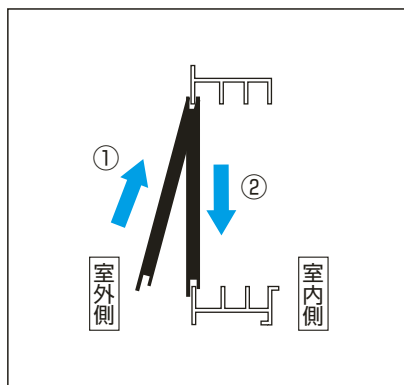
④ 室内側の窓を上枠のレールにはめ込み、下部を下枠レールにのせる

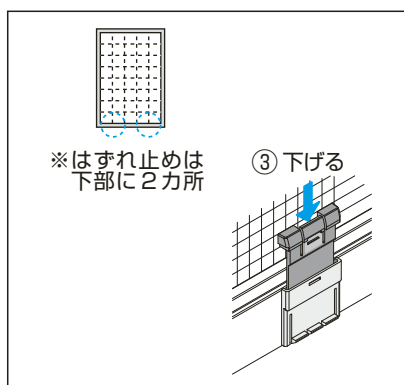
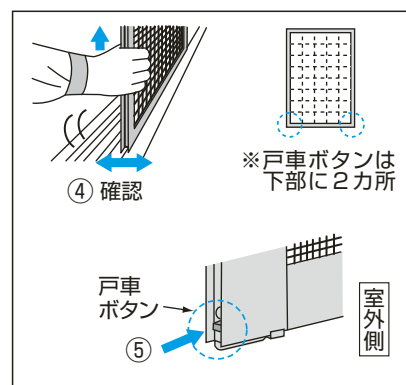
⑤ 窓を閉める

⚠注 意

❗お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けるときは、落下防止のため、はずれ止めを必ずかけてください。
はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

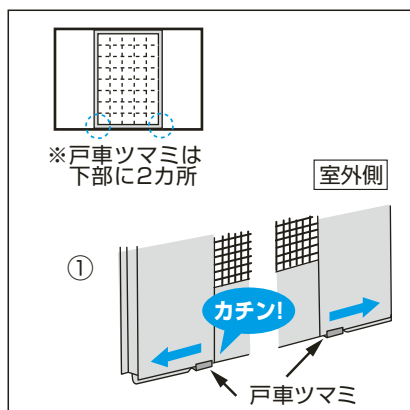
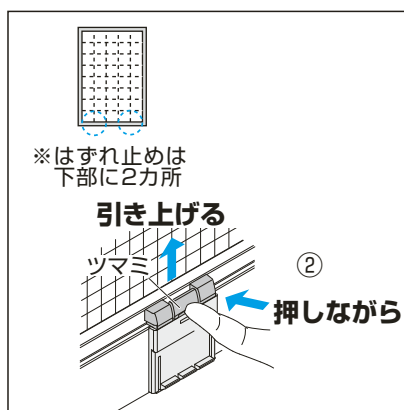
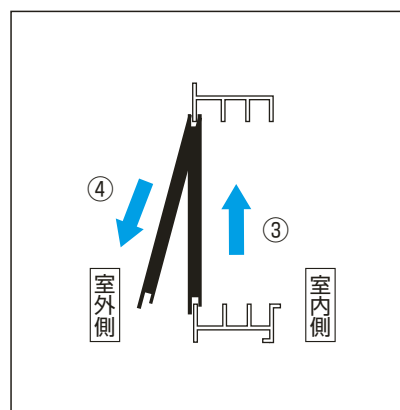
❗網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。また、ご使用中はずれ止めがずれることがあります。はずれ止めが正しくかかっているか時々確認してください。

- 網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認のうえ、安全に十分注意して行ってください。
- 網戸脱着の際は、網戸をしっかり持って落とさないように注意して作業してください。
- 保管する場合は、高温になる場所は避けて、屋内で立掛けてください。

● 網戸の取付け方

①室外側から上レールに合わせて押し上げる

②下部を室内側に寄せ下レールにのせる

③下部左右のはずれ止めを下げる

④網戸を持ち上げながら内外にゆすり、枠からはずれないことを確認する
⑤下部左右の戸車ボタンを押す

※片引き窓用網戸の場合、戸先側のみになります。

● 網戸のはずし方

①室外側下部左右の戸車ツマミを矢印方向に「カチン」と音が鳴るまで動かす

②下部左右のはずれ止めをツマミを押しながら、引き上げる

③室外側から網戸を持ち上げる
④下部を室外側へ、下げてはずす

※片引き窓用網戸の場合、戸先側のみになります。

※電動商品の場合は、専用取扱説明書（お施主様保存版）をご覧ください。

・シャッターにホコリが付いたまま開閉すると、表面がキズ付くおそれがあります。こまめに汚れを取除いてください。

・水をかける場合は、窓を閉めた状態で行ってください。

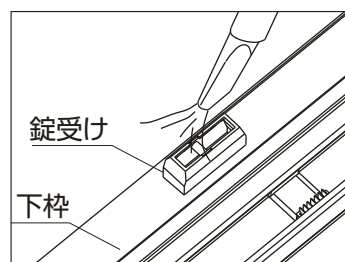
● シャッターのお掃除方法

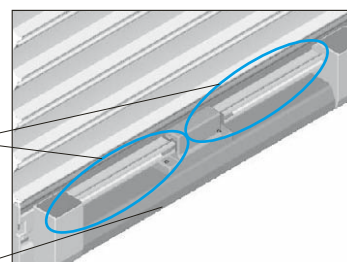
① 汚れを水で洗い落す

② 乾いた布で水分をふき取る

※ 水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

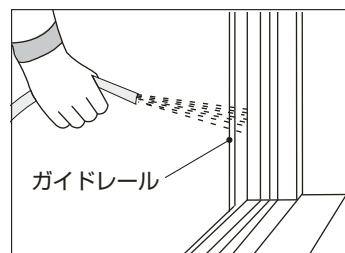
● 錠受けのお掃除方法

① 砂ホコリや異物を掃除機で吸い取る

● 座板のお掃除方法

① 解錠レバーの奥に詰まった砂ホコリや異物を掃除機で吸い取る

● ガイドレールのお掃除方法

① 柔らかいブラシで汚れを落し、水で洗い流す

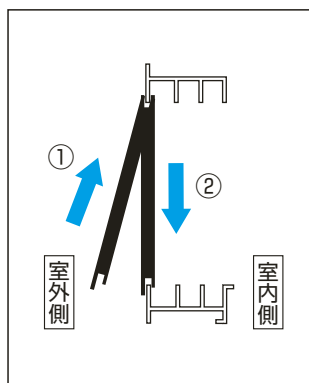
② 乾いた布で水分をふき取る

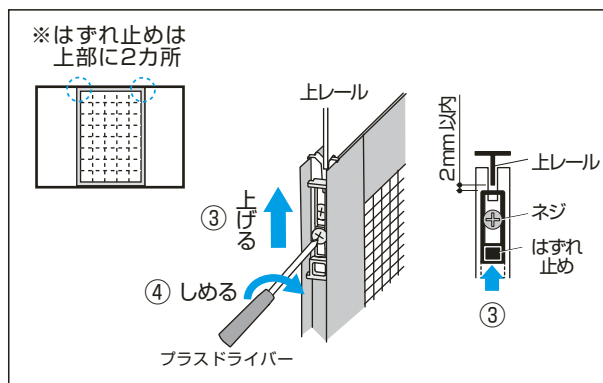
※ 水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

⚠注意

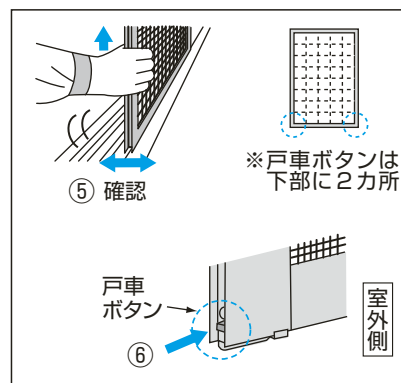
❗お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けるときは、落下防止のため、はずれ止めを必ずかけてください。
はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

❗網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。また、ご使用中はずれ止めがずれることがあります。はずれ止めが正しくかかっているか時々確認してください。

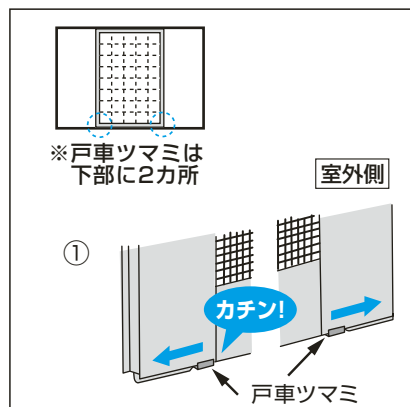
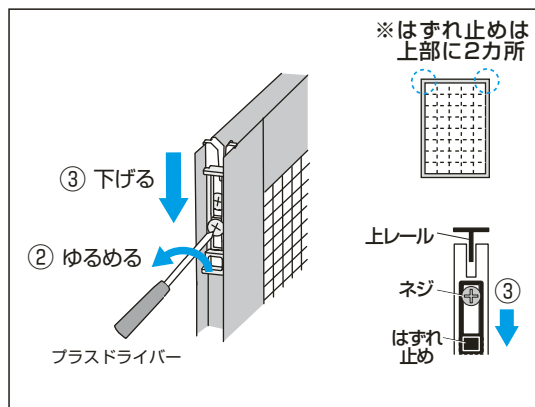
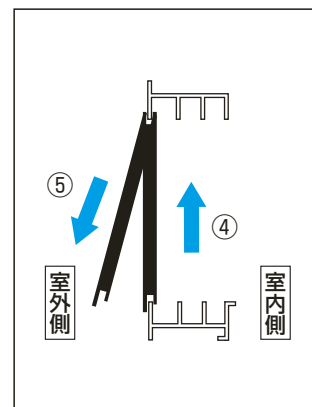
・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認のうえ、安全に十分注意して行ってください。
・網戸脱着の際は、網戸をしっかり持って落とさないように注意して作業してください。
・保管する場合は、高温になる場所は避けて、屋内で立掛けてください。

● 網戸の取付け方

①室外側から上レールに合わせて押し上げる

②下部を室内側に寄せ下レールにのせる

③上部左右のはずれ止めを開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げる

④はずれ止めが動かないようドライバーでネジをしっかりしめる

⑤網戸を持ち上げながら内外にゆすり、枠からはずれないことを確認する

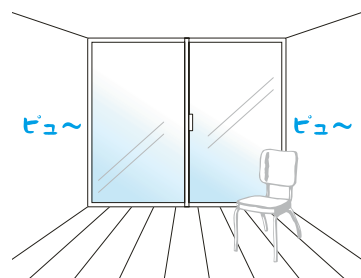
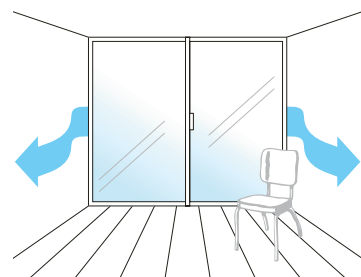
⑥下部左右の戸車ボタンを押す

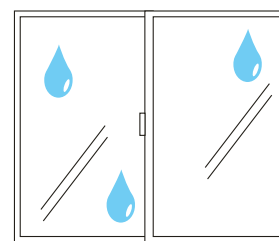
● 網戸のはずし方

①室外側下部左右の戸車ツマミを矢印方向に「カチン」と音が鳴るまで動かす

②ドライバーで上部左右のはずれ止めのネジを一回転程度ゆるめる
③はずれ止めを下げる

④室外側から網戸を持ち上げる
⑤下部を室外側へ、下げてはずす

日常生活の中で窓について『何かおかしいな･･･』と感じる現象が発生することがありますが、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。
お住まいの中で発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明していますので、暮らしの中でお役立てください。

● 窓を閉めきった時のすき間風について
● 強風時、換気扇使用時の笛鳴り現象について

窓を閉めた時、窓のすき間を防ぐためにパッキンなどの気密部品を取付けていますが、強風時や換気扇使用時には室外と室内に気圧の差が生じ、気密部品の接触部分から空気が出入りし、すき間風が発生することがあります。
また窓やドアを閉め切った状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されるため、笛鳴り現象が発生することがあります。
これらの現象は窓の構造上完全になくすことはできません。

すき間風や笛鳴り現象が激しい場合、窓の調整が不十分なことも考えられますので、当社メンテナンスセンターまでお問合せください。（0120-099-413）

● 結露について

結露とは、水蒸気を多く含んだ暖かい空気が、冷たいものの表面に触れることで冷やされ、空気中に含みきれなくなった水蒸気が、水滴となってガラスなどに付着する現象です。
これは自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。
結露が発生した場合は、凍結に至る場合もありますので、早めにふき取ってください。

結露の発生を抑えるポイント
①過度な過湿の防止
（室内の湿度の上限は60%程度までにコントロールする）
②換気の促進
③室温は適温に保つ
（冬20℃～23℃、夏25℃～28℃）
④空気の流れをよくする。

『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。
ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡をお願いいたします。（0120-72-4134）

● ガラスの熱割れについて

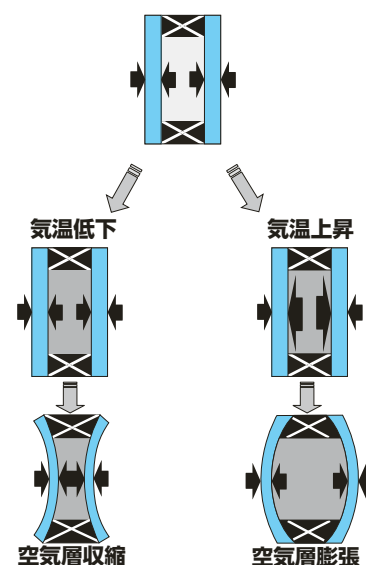
ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れることとなります。
この現象が「熱割れ」と呼ばれ、網入りガラスに多く見られる現象です。
ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。
ガラスが割れた場合は、お早めに当社メンテナンスセンターへ修理依頼をしてください。
（0120-099-413）

熱割れを予防するポイント
①ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
②暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
③ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
④室内に熱だまりを作らない。

● 複層ガラスのゆがみについて

複層ガラス面に反射して写る映像がゆがんで見えることがありますが、複層ガラスの構造上さけられない現象となりますのでご了承ください。

複層ガラスの中間層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気が収縮したり膨張したりするために、ガラスが湾曲しガラスの表面に反射して写る映像がゆがんで見えます。特にLow-E複層ガラスでは反射率が高いためゆがみが目立つことがあります。

困った時には

商品ご使用の際に、「おかしいな?…と」感じる現象が発生することがありますが、比較的簡単な処置で解消できる処置方法をご紹介します。
ご紹介した処置方法で解消されない場合や、ここに掲載していない現象が発生した場合は、当社メンテナンスセンター(フリーダイヤル 0120-099-413)
または、当社お客様相談室(フリーダイヤル 0120-72-4134)までご相談ください。

● 片上げ下げ窓

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●主錠がかかりにくい または、かからない	クレセント(主錠)とクレセント受けの位置があっていますか?	クレセント(主錠)の調整をしてください。	P.40
●窓の開閉がスムーズにできない ●開閉時に異音がする	掃除の際、内倒し状態からもとの状態に戻す際、下窓が正しい位置に戻っていますか?	下窓をもう一度内倒し状態にし、下窓を起こして内倒しツマミが元の位置に戻ったことを、確認してください。	P.39

● 片上げ下げ窓用固定網戸

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●はずれ止めがかからない	網戸は正しい位置に取り付けられていますか?	網戸を取りはずし、もう一度取り付けを行ってください。	P.41 P.42

● FIX窓

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●ガラスにヒビが入ったまたは割れてしまった	飛来物が当たった可能性はありませんか? または、熱割れの可能性が考えられます。	一般のガラス取扱い業者様では修理できない場合がありますので、当社メンテナンスセンターに修理依頼してください。 0120-099-413	–

● すべり出し窓

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●約90°に窓を開けたり、その状態から窓を閉じる為の解除ツマミが動かない	窓が全開になっていませんか?	開ける場合は、窓を全開にする手前で止め、解除ツマミを押しながら開けてください。 閉める場合は、窓を外側へ押した状態で解除ツマミを押して窓を閉めてください。	P.46

● 横引きロール網戸

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●網戸の開閉がスムーズにできない	巻き取りスピードが調整されていますか?	巻き取りスピードを調整してください。	P.47
	レールから網戸ネットがはずれていませんか?	レールの溝に網戸ネットを入れてください。	P.47
	可動桟の端部を持って開閉していませんか?	可動桟の中央を持って開閉してください。	P.18

● 上げ下げロール網戸

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●網戸の開閉がスムーズにできない	レールから網戸ネットがはずれていませんか?	レールの溝に網戸ネットを入れてください。	P.49

● 片引き窓

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●窓の開閉がスムーズにできない ●開閉時に異音がする	窓の下枠レールにゴミなどが、たまっていません?	下枠レールのゴミを取り除いてください。	–
●施錠した状態でも窓がガタガタする	窓が傾いて付いていませんか?	戸車を調整して、窓の傾きを調整してください。	P.52
●施錠してもすき間風や水しぶきなどが入る		多少のガタツキは、窓を操作する上で必要なすき間です。 窓の不具合ではありません。	–
●下枠に雨水がたまる		水密性能を保持するため、下枠レールに水をためる構造になっています。 窓の不具合ではありません。	–

● 片引き窓用スライド 網戸

こんなときは…	原　因	直し方	参照P
●網戸がはずれる または、落下する	はずれ止めをかけ忘れていませんか?	はずれ止めをかけてください。	P.58
	はずれ止めの位置はあっていますか?	はずれ止めの調整をしてください。	P.58
●網戸の開閉がスムーズにできない ●開閉時に異音がする	はずれ止めの位置はあっていますか?	はずれ止めの調整をしてください。	P.58
	網戸がレールにのっていないなど網戸が正常に取り付けられていますか?	網戸を取りはずし、もう一度取り付けを行ってください。	P.57 P.58
	網戸の下枠レールにゴミなどがたまっていませんか?	下枠レールのゴミを取り除いてください。	–

● 水密性能について…

・片引き窓、引違い窓、引違いテラス戸の下枠に雨水がたまることがあります。
これは一般的な窓の構造上、水密性能を保持するために必要なことであり、不具合ではありません。

●水密性能とは、屋内への雨水の浸入をどの程度防げるかを示す性能です。

・一般的に窓の水密性能はW-2、W-3、W-4などJIS等級で表示しています。

・W-4等級とは、1時間あたり240mmの降雨時に風速23m/S程度の風が吹いても窓からの雨水浸入がない性能です。

● 気密性能について

●気密性能とは、窓のすき間からどの程度の空気の出入りがあるかを示す性能です。

・一般的に窓の気密性能はA-2、A-3、A-4などJIS等級で表示しています。

・A-4等級とは、風速4m/S程度の風（木の葉や小枝が休みなく動く程度の強さ）が窓の正面に当たっている時に、窓表面1m^2あたり1時間に2m^3以下の空気が出入りする性能です。窓のすき間から出入りする空気の量が少ない方が性能が良いということになります。

● 耐風圧性能について

・耐風圧性能は、窓に風圧が均一に加わることを想定しているため、飛来物などである箇所に集中的に力が加わった場合は窓が破損することもあります。

●耐風圧性能とは、強風など内外からの力に対してどの程度耐えられるかを表す性能です。

・一般的に窓の耐風圧性能はS-1、S-2、S-3などJIS等級で表示しています。

・S-3等級とは、風速50m/S程度の風が窓の正面に当たっても窓が破損しない性能です。

※風が強い時に、窓の中央が風でおされて変型しますが風がおさまった時には、元の状態に戻ります。

● 遮音性能について…

・遮音性能は、ガラスの厚さによって変わりますので、指定の厚さ未満のガラスを使用すると本来の性能がでないことになります。

・室内の騒音レベルを低くする簡単な対策として、室内に厚地のカーテンやじゅうたんなど、吸音効果のあるものを使用すると効果的です。

●遮音性能とは、屋内・外への音の出入りをどの程度遮ることができるかを示す性能です。

・一般的に窓の遮音性能はT-1、T-2などJIS等級で表示しています。

・T-2等級とは、外の騒音などが80ホンあった場合、室内では凡そ50ホン以下になる性能です。

※これはあくまで基準としての窓の性能であり、お住まいで実測する数値とは異なります。

● 断熱性能について…

●断熱性能とは、屋内の熱移動をどれくらい抑えることができるかを示す性能です。

・一般的に窓の断熱性能はH-1、H-2、H-3、H-4、H-5などJIS等級で表示しています。

1. けがの防止

ドア・窓などは日常、何気なく使用していると思いますが、ちょっとの不注意がけがにつながることがあります。日常生活の中で注意していただきたいポイントを以下に紹介しますので、家庭内でのけが防止の参考にしてください。

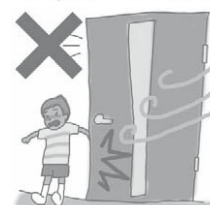
ドア開閉時のご注意

・ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。
指をはさんで大けがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

・ドアの開閉時に、扉の下端部に足があたらないようにしてください。
足を挟んでけがをするおそれがあります。
特にお子様やサンダル履きでの開閉の際にはご注意ください。

・ドアの開閉にあたっては必ずドアハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉ったとき、ドアと枠の間で指をはさみ思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

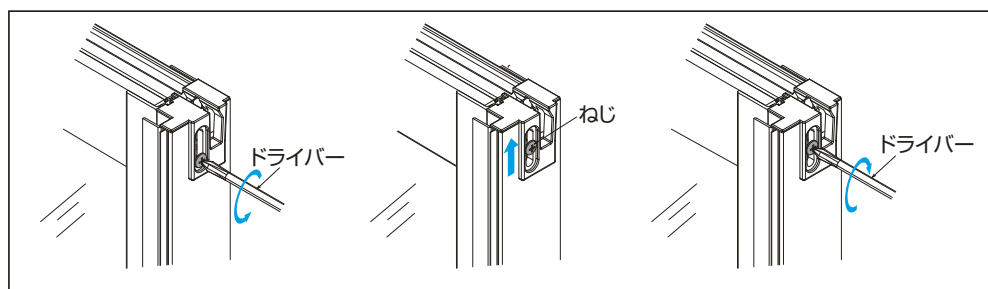
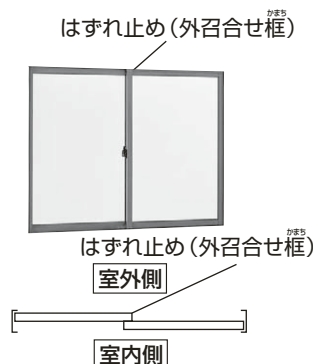
・風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

・ドアポストの奥まで手を入れないでください。ポスト口のふたに手や指をはさんだ際に、そのまま抜こうとすると、ふたの端部でけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

引戸開閉時のご注意

・引戸の開閉時には、引戸のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

・引戸の開閉にあたっては必ず引手を持って操作してください。

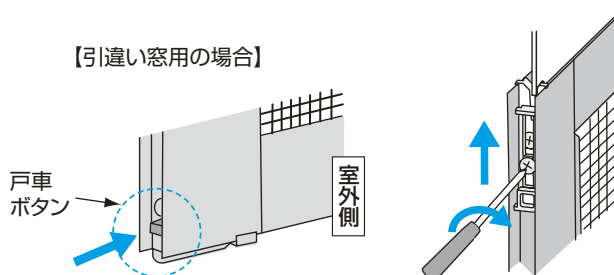
窓についてのご注意

・お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けた時は、表示ラベルに従って**はずれ止め部品を必ずかけてください。**
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・窓のそばを通るときは、開いている窓にご注意ください。
開いている窓にぶつかり、けがや窓の破損につながるおそれがあります。

・引違い窓の下を枠を掃除する際は、レールコーナー部（金属端部）に直接ふれないようご注意ください。レールコーナー部は、金属端部を滑らかにする加工を施してありますが、手にけがをするおそれがあります。
・引違い窓（掃き出し窓タイプ）の出入りの際は、下枠レールコーナー部（金属端部）に足をのせないようご注意ください。レールコーナー部で足にけがをするおそれがあります。

・シャッターを閉める際は、開閉位置に手や足を出さないでください。また周りに人や物がないことを確認してください。手や足をはさまれけがをしたり、物がはさまり破損や故障の原因となるおそれがあります。

・強風雨時にはシャッターだけではなく内側の窓も閉めて、必ず施錠してください。シャッターの破損による事故や漏水につながります。
・窓用シャッターの使用を続けていると、部品の摩耗や劣化により開閉異常が生じることがあります。継続的にご使用していただくために、定期的な点検をお願いします。

・お手入れなどのため網戸をはずした後、再び網戸を取付ける時は、表示ラベルに従って**はずれ止め部品などを必ずかけてください。**
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

APW® 10年保証
商品10年保証

APW® ご採用のオーナー様へ

APW® 10年保証のご案内です。
APW® 10年保証はオーナー様に安心して商品をお使いいただくために
商品を10年間保証する制度です。
詳しくは下記の商品保証についてをご確認ください。
ご不明な点がありましたら当社お客様相談室にご相談ください。

商品保証について

本書は、当社の商品 APW® 310 に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。保証期間中に APW® 310 を構成する窓枠・複層ガラス・部品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まず当社メンテナンスセンターにご相談ください。

■保証期間

①窓枠･複層ガラス･部品の支給
建築会社よりの引き渡し日　（注1、注2）から10年間（電装部品･網戸ネットは2年間）無償にて支給いたします。

②商品の修理
建築会社よりの引き渡し日（注1、注2）から２年間修理工賃を負担いたします。
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

上記期間経過後は有料となります。

■保証内容

取扱説明書「使い方&お手入れガイドブック」、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に保証対象となる不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き保証期間に応じて無料で商品の修理、代わりの窓枠を構成する部材･複層ガラス･部品を支給いたします。保証期間経過後は有料となります。ただし、商品の仕様を変更、販売を完了させていただいている場合は同一の窓枠を構成する部材･複層ガラス･部品でなく代替可能な窓枠を構成する部材･複層ガラス･部品にて対応させていただく場合があります。また、商品からの雨水浸入の際には建築会社への引き渡し日（注1、注2）から10年間の保証をいたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次の場合には有料となります。

①当社または当社認定の「品質技術修了者」によらない加工、組立、調整、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例:当社または当社認定の「品質技術修了者」以外の業者が行った作業等により発生した不具合）

②施工全般に起因する不具合
ただし、シャッターにかかわる、当社または当社認定の「品質技術修了者」・「責任施工士」による施工作業に起因する不具合を除きます。

③建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
（例:商品を取り付けている建物の柱などが変形すること等により発生する不具合）

④商品の日常の使用・機能に影響を及ぼさない部材、部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗、キズなど）や部材、部品の経年劣化（褪色、さび、かびなど）
（例:商品使用期間経過とともに発生する商品外観色の褪色）

⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合（例えば、塩害による腐食。大気中に含まれる砂塵、煤煙、亜硫酸ガス等の物質、車・給湯器等の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な温度・湿度環境による不具合など）

⑥天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合。またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑦通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合

⑧犬、猫、鳥、ねずみなどの小動物や虫などの害による不具合
（例:小動物の噛みキズ、引掻きキズ等により発生する不具合）

⑨引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例:日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合）

⑩お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
（例:複層ガラス表面にフィルムを貼ることや塗料を塗ること等により発生する不具合）

⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
（例:窃盗を目的に家に入るため商品を破壊すること等により発生する不具合）

⑫複層ガラスに生じた亀裂、破損による不具合
（例:ガラスに飛来物があたること等によりガラスに亀裂や割れが発生する不具合）

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社メンテナンスセンターにお問い合わせください。

■補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。
ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。
補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合せください。

お客様メモ

■お問い合せなどのために、記入しておくと便利です。

お引き渡し日 （または入居日）	年　　月　　日
工務店・建築会社	社名 TEL　　－　　－
販売店	社名 TEL　　－　　－
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみやがたつきなどの不具合が発生することがあります。
そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。
対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取扱いの建築会社様、工務店様、販売店様、または当社お客様相談室にご相談ください。

■修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。
●商品名　●商品記号・シリアルナンバー（商品に貼付しているラベルでご確認ください。）
●お引渡し日（お引渡し日が不明な場合な場合は、竣工日または入居日）
●工務店様、建築会社様名など　●破損箇所や不具合状態

メモ

本ガイドブック記載の商品に関するご相談、お問い合せは
お客様相談室
0120-72-4134
※携帯・PHSからは03-5610-8277（有料）へ
受付時間　平日9:00～17:30　土曜9:00～17:00
（日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く）

本ガイドブック記載の商品に関する修理に関するご相談、ご依頼は
メンテナンスセンター
0120-099-413
受付時間　平日9:00～17:30　土曜9:00～17:00
（日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く）

●お問い合せ、ご用命は……

YKK ap
YKK AP株式会社

●表示内容は2013年2月現在のものです。
●改良のため予告なく商品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本紙で使用する「APW」はYKK AP（株）の出願・登録商標です。
●発行／2013年2月　（2版）①　　Printed in Japan

ホームページ　www.ykkap.co.jp/

NO XAAAE H11-017-2